MITSUBISHI

HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

三菱 DLP® プロジェクター

形名

LVP-FD730

取扱説明書

DATA PROJECTOR

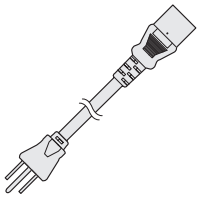
PJLink®

このたびは三菱 DLP® プロジェクターをお買上げいただきありがとうございました。
ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。
お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要なときお読みください。
保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、お買上げの販売店からお受け取りください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

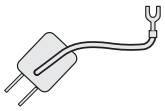
付属品を確認する・リモコンに乾電池を入れる

付属品を確認する（このプロジェクターには次の付属品があります。そろっているかどうか確認してください。）

■電源関係

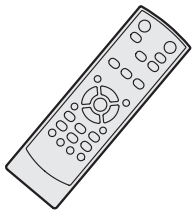


電源コード

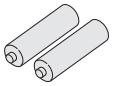


変換アダプター

■リモコン関係

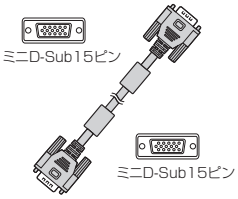


リモコン



単三乾電池(2本)

■映像関係



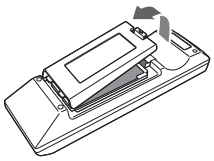
コンピューターケーブル

■その他

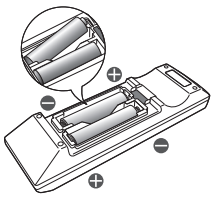
- レンズキャップ
- ランプ交換用アタッチメント
- CD-ROM
- 取扱説明書/クイックスタートアップ
- 保証書
- 三菱DIAMOND VIEW CLUBご案内
- ソフトキャリングケース

● 付属の電源コード・変換アダプターは、本製品専用です。決して他の製品には使用しないでください。

リモコンに乾電池を入れる

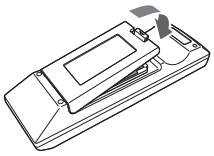


1 リモコン裏面のフタをはずす



2 乾電池の（+）、（−）をよく確かめて、（−）側から正しく入れる

● 乾電池を（+）側から入れると、（−）側へ入れるときにコイルバネ端子が乾電池の側面に当たり、入れにくくなります。このような状態で無理に入れると乾電池の外装ラベルが破れ、ショートして発熱する恐れがあります。



3 裏面のフタを付ける

● 乾電池は、単三乾電池（AA、R6）を 2 本お使いください。
● リモコンを使用できる距離が短くなってきたら、2 本とも新しい乾電池に交換してください。

リモコンから乾電池を取り出す

● リモコンの裏面のフタをはずし、乾電池を取り出してください。

⚠注意

- **乾電池は、6 ～ 7 ページに記載している「乾電池の取り扱いについて」をよく読んで、正しくお使いください。使用を誤ると、液もれや発熱、破裂により、火災やけが、周囲の汚損の原因となることがあります（乾電池に表示されている注意事項もお読みください）。**
- **このプロジェクターはプラグ接続機器です。機器の近傍にコンセントがあり、かつ、そのコンセントには容易にアクセスできなければなりません。**
- **本機には付属の電源コードをご使用ください。付属以外の電源コードを使用すると、ラジオやテレビの放送電波障害の原因となることがあります。**
- **J55022 クラス B 装置の規制範囲内に干渉を抑えるため、付属のコンピューターケーブルをご使用ください。**
- **本機は必ず接地してください。**

もくじ

はじめに

安全のために必ずお守りください....4
各部のなまえ....8
本体のなまえ....8
リモコンのなまえ....9
リモコンの使いかた....10

映像を見る

コンピューターの映像を見る....11
A. コンピューターと接続する....11
B. 電源コードを差し込む....12
C. 投写する....12
プレゼンテーションを演出する....17
映像と音声を一時的に消す（AV ミュート）....17
画面を拡大して見る（画面拡大機能）....17
起動時および AV ミュート時などの画面を変更する....18
コンピューター映像とビデオ映像を同時に見る（2 画面表示）....19
ビデオ機器の映像を見る....20
A. ビデオ機器と接続する....20
B. 電源コードを差し込む....21
C. 投写する....22

設定・調整する

メニューを使って設定する....25
クイックメニュー....25
クイックメニューの設定のしかた....25
クイックメニューで設定できること....26
詳細メニュー....27
詳細メニューの設定のしかた....28
詳細メニューで設定できること....29
映像を調整する....34
映像の明るさを調整する（コントラスト、ブライト）....34
独自の白の色合いを設定する（色温度のユーザー設定）....34
色を調整する（色の濃さ、色合い）....34
映像をくっきりさせたり、ソフトにしたりする（シャープネス）....34
スクリーン (壁色) に合わせた色の調整をする....34
独自の明るさと色合いを設定する (カラーエンハンサーの詳細説明)....35
コンピューター映像の調整....36

その他

ネットワークを設定する....38
パスワードを設定する....41
コンピューターによる監視と制御....42
設置工事を依頼するときは・お掃除のしかた....44
光源ランプを交換する....45
故障かなと思ったら....48
索引....51
端子について....51
仕様....52
別売品....52
接続できる信号の種類....53
保証とアフターサービス....55
インジケーターの見かた....裏表紙

商標および著作権について

- DLP®（Digital Light Processing®）、DMD、BrilliantColor™は、米国テキサスインスツルメンツ社の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Pentium は、インテルコーポレーションまたはその子会社の米国およびその他の国における登録商標、または商標、または商品名です。
- Mac は、Apple Inc. の商標です。
- PJLink は、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会の日本、米国その他の国や地域における出願商標または登録商標です。
- その他、本書に記載のメーカー名および商品名は、各社の商標または登録商標です。
- アスペクト比の切り換えについて
  - 本機はアスペクト比切り換え機能（24 ページ）を備えていますが、入力信号と異なるアスペクト比を選択されますと、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、元の入力信号と同じアスペクト比でご覧ください。
  - 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、店内外、ホテルなどにおいて、アスペクト比切り換えを利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作権の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

安全のために必ずお守りください

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

■図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください	絶対に分解・修理はしないでください	絶対に触れないでください
絶対に水にぬらさないでください	絶対にぬれた手で触れないでください	絶対に水場では使用しないでください
手をはさまないよう、注意してください	必ず指示に従い、行ってください	必ず電源プラグをコンセントから抜いてください

⚠警告

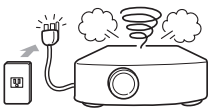
故障したまま使用しない

万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く !!

異常のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、三菱電機テクニカルサポートセンターに修理をご依頼ください（55 ページ参照）。

プラグを抜く

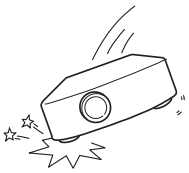
煙が出ている、変なにおいや音がするなど、異常なときは、電源プラグをすぐ抜く !!



プラグを抜く

異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、三菱電機テクニカルサポートセンターに修理をご依頼ください。

落としたり、キャビネットを破損した場合は使わない



使用禁止

火災や感電の原因となります。

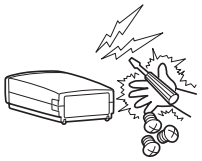
本体に割れ、変形がある場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。三菱電機テクニカルサポートセンターに修理をご依頼ください。

プラグを抜く

次のようなことはしない

キャビネットをはずしたり、改造しない

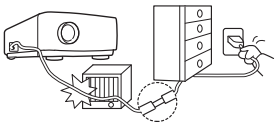


分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因となります。また、改造すると、ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。内部の点検･調整･修理は、三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。

電源コードやプラグを傷つけない

- 重いものをのせない
- 引っ張らない
- ねじらない
- 無理に曲げない
- 加熱しない
- 加工しない
- じゅうたんなどの下にひかない



禁止

コードやプラグに傷がつくと、火災や感電、故障の原因となります。電源コードの芯線が露出したり断線するなど、コードやプラグが傷んだときは、すぐに三菱電機テクニカルサポートセンターに修理をご依頼ください。

内部に異物を入れない

禁止

金属類や燃えやすいものなどが入ると火災や感電の原因となります。

花びんやコップ、植木鉢、小さな金属物などを上に置かない

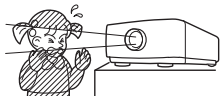
禁止

内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。

⚠警告

次のようなことはしない（つづき）

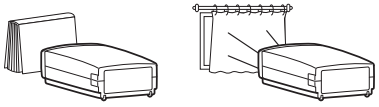
レンズをのぞかない



禁止

光源ランプの点灯中は、レンズをのぞかないでください。強い光によって視力障害などのけがの原因となります。特に小さなお子さまにはご注意ください。

光源ランプ点灯中にレンズの直前に物を置かない

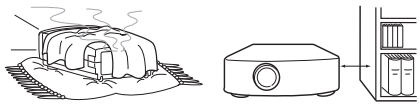


禁止

レンズや遮蔽物が高温になり、火災や故障の原因となります。

吸気口、排気口をふさがない

- 風通しの悪い狭い場所に置かない（壁から 50cm 以上離す）
- じゅうたんや布団の上に置かない
- テーブルクロスなどをかけない
- 排気口付近に燃えやすい物を置かない



禁止

吸気口や排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、製品の性能劣化や火災の原因となることがあります。

雷が鳴り出したら電源プラグには触れない

感電の原因となります。

接触禁止

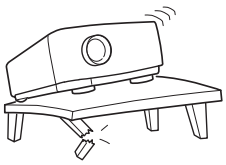
使用した直後、光源ランプの交換はしない

使用した直後、光源ランプは高温になっていますので、交換作業はしないでください。さわるとやけどの原因となります。

禁止

次のような場所に置かない

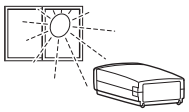
不安定な場所には置かない



禁止

（特に上下逆さまに置いた状態で）ぐらついた台の上や、傾いた所などに置くと、落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。

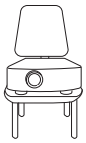
直射日光の当たる場所に置かない
レンズを太陽に向けない



禁止

火災や故障の原因となります。

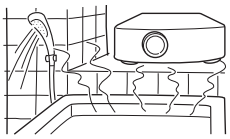
ソファー、椅子などの上に置かない



禁止

吸気口をふさぐと、内部に熱がこもり、製品の性能劣化や火災の原因となることがあります。

風呂場では使わない

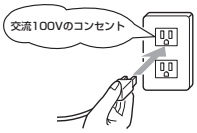


水場での使用禁止

火災や感電の原因となります。

その他

正しい電源電圧で使う



交流 100V

交流 100V 以外の電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。また、必ず漏電ブレーカーを備えたコンセントから本機に電源を供給してください。

可燃性の溶剤（ベンジンやシンナーなど）やスプレーを近くで使用しない

禁止

ランプを点灯すると製品内部は非常に高温になるため、引火し、火災や故障の原因となることがあります。

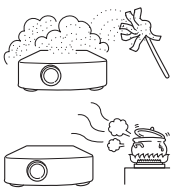
安全のために必ずお守りください（つづき）

⚠注意

次のような場所には置かない

設置時は、次のような場所には置かない

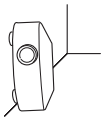
- 押し入れや本棚など、風通しの悪い場所
- 閉めきった自動車内など、高温になるところ
- 排気口にエアコンなどの風が直接当たるような場所
- 屋外または空調設備のない場所
- 温泉地など、硫化水素などのガスが発生するところ
- 熱器具や加湿器の近く
- 油煙や湯気が当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 火災報知器の近く
- 海岸近くなど、塩分の多いところ
- 直射日光の当たる場所
- 振動や衝撃が加わる場所



設置禁止

このような場所に置くと、ショートや発熱、電源コードの被膜が溶けるなどにより、火災や感電、故障、変形の原因になることがあります。

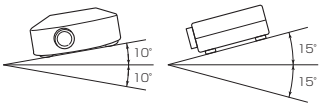
立てた状態で置かない



禁止

倒れて、けがや故障の原因となります。

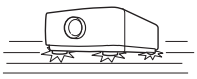
傾けた状態で動作させない



禁止

傾けた状態で動作させるとランプの故障や破裂の原因となります。
左右方向に対して±10°、前後方向に対して±15°を超えて傾けた状態で動作させないでください。

ワックスのかかった床に直接置かない



設置禁止

床上のワックス、洗剤、溶剤により、床材とプロジェクター底面脚部分の密着性が上がり、床材のはがれ、着色の原因になります。

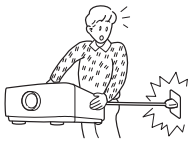
重いものを置かない、踏み台にしない

禁止

本体がこわれることがあります。また、バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

電源コード・プラグについて

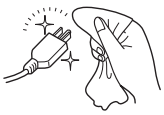
接続したまま移動させない



禁止

電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。電源コードや接続コードをはずしたことを確認してから移動させてください。

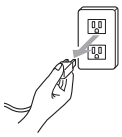
電源プラグのほこり、金属物などは定期的に取り、差し込みの具合を点検する



ほこりを取る

ほこり、金属物などがついたり、コンセントへの差し込みが不完全な場合は、火災や感電の原因となることがあります。
1年に1回はプラグとコンセントの定期的な清掃をし、最後までしっかり差し込まれているか点検してください。

電源プラグを持って抜く



プラグを持つ

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しない

発熱して火災の原因となることがあります。販売店にコンセントの交換をご依頼ください。

禁止

乾電池の取り扱いについて

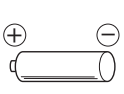
新しい乾電池と古い乾電池や、種類の違う乾電池を混ぜて使用しない。

禁止

分解したり、ショートさせたり、加熱したり、火や水の中に投入しない。

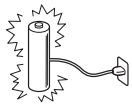
禁止

プラス（+）とマイナス（−）の向きを正しく入れる。



正しく入れる

乾電池を充電しない。
充電式の電池は使用しない。



禁止

⚠注意

乾電池の取り扱いについて（つづき）

- 乾電池は、(−) 側から入れてください。
  乾電池を (+) 側から入れると、(−) 側へ入れるときにコイルバネ端子が乾電池の側面に当たり、入れにくくなります。このような状態で無理に入れると乾電池の外装ラベルが破れて、ショートして発熱する恐れがあります。
- 長時間使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。乾電池から液がもれて発煙、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。
- 使いきった乾電池は、すぐに取り出してください。
- 乾電池の溶液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流してください。また、眼に入ったときは、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 使用済みの乾電池は、地域の破棄ルールに従って破棄してください。また、プラス (+)・マイナス (−) 端子に絶縁性テープを貼るなどして絶縁状態にしてから廃棄してください。他の金属片等導電性のあるものと一緒に廃棄すると、ショートして、発火、破裂の原因となることがあります。
- 間違った形式の乾電池と交換すると、爆発の危険があります。
- 乾電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。万一、飲み込んだりした場合はすぐに医師に相談してください。
- 乾電池は、金属製のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。乾電池がショートし、乾電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因になることがあります。
- 乾電池は、直射日光、高温多湿の場所を避けて保管してください。高温・湿気により、腐食や液もれの原因となります。

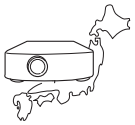
その他

1 年に一度は内部の掃除を依頼する

内部掃除

三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。ほこり、油煙、けむり等により内部に汚れが付着したまま長い間掃除をしないと、火災や故障および、光学部品の汚れによる輝度劣化の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うのが効果的です。内部掃除費用については、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

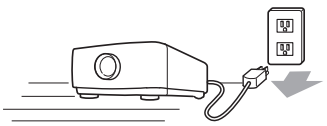
このプロジェクターは日本国内専用です



日本専用

電源電圧の異なる海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This projector is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

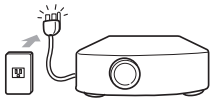
ご使用が終わったときは、電源プラグをコンセントから抜いておく



プラグを抜く

電源ボタンで電源を切り、光源ランプを消灯したスタンバイ（待機状態）にします。**約 90 秒間**待ったあと、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
スタンバイにして約 90 秒間待つのは、光源ランプを冷やすために吸、排気ファンが回っているからです。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う



プラグを抜く

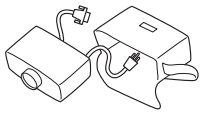
安全のため、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

排気口、底板は熱くなりますので触れないこと

やけどや他の機器への損害を与える原因となりますので、さわったり、排気口の近くに他の機器を設置したりしないでください。また、熱に弱い机の上などに置かないでください。

接触禁止

電源コードやケーブルを接続したままの状態でソフトキャリングケースに入れない



禁止

故障の原因となることがあります。

観葉植物を置いたり、ペットを近づけたりしない

排気口周辺ならびに排気口上部のキャビネットが高温になります。特に小さなお子様にはご注意ください。

禁止

レンズシフト動作中はレンズ開口部に手を入れない

手（指）がはさまれ、けがの原因となることがあります。

手はさみ注意

製品使用中は排気口をのぞき込まない

排気口から温風、ゴミなどが吹き出すため、目をいためることがあります。

禁止

結露した状態で使用しない

結露した状態で使用すると、故障やその他の不具合が発生する原因となることがあります。

禁止

海抜 1500m 以上での使用は避ける

海抜 1500m 以上での使用は、製品の寿命に影響するおそれがあります。

注意

強い衝撃や振動を与えない乱暴な扱いはしない

製品が故障し、火災・感電の原因となります。

禁止

吸、排気口に指などを入れない

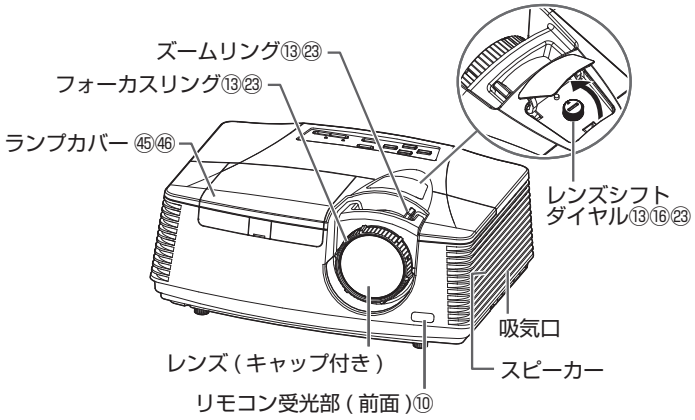
けがなどのおそれがありますので、吸、排気口に指などを入れないでください。

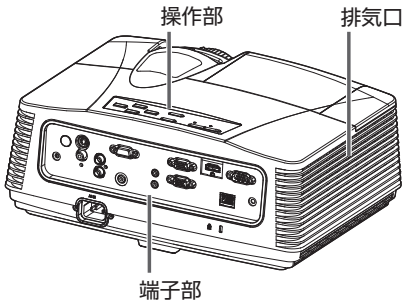
禁止

各部のなまえ

本体のなまえ（○は参照ページ）

本体





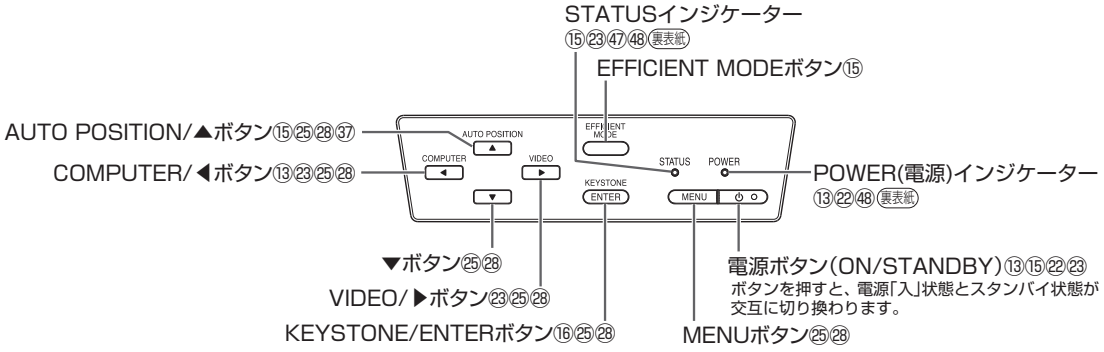
⚠注意

使用した直後、光源ランプは高温になっていますので、交換作業はしないでください。
さわるとやけどの原因となります。

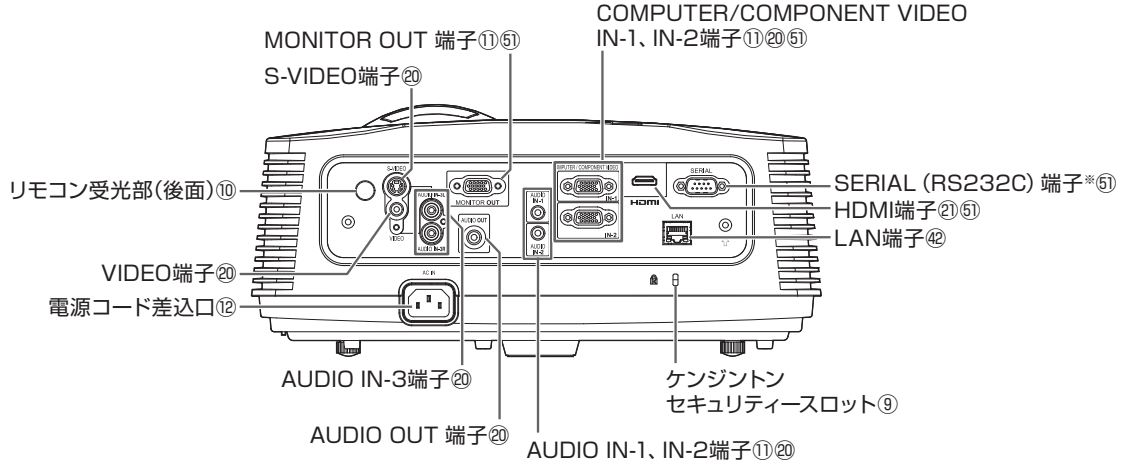
ソフトキャリングケース収納時

本機をソフトキャリングケースに収納する際は、レンズ側を上にして入れてください。また、レンズを守るため、フォーカスリングとズームリングを回してレンズが一番短くなる状態にして収納してください。

操作部

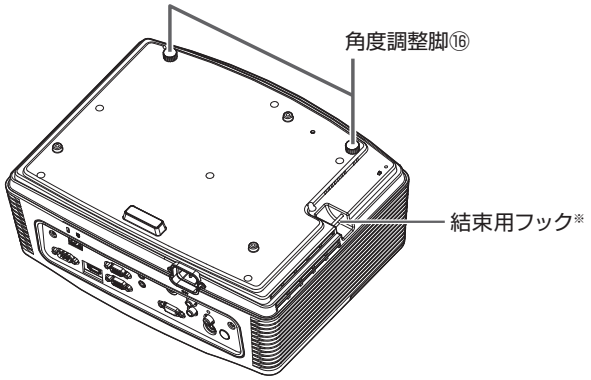


端子部



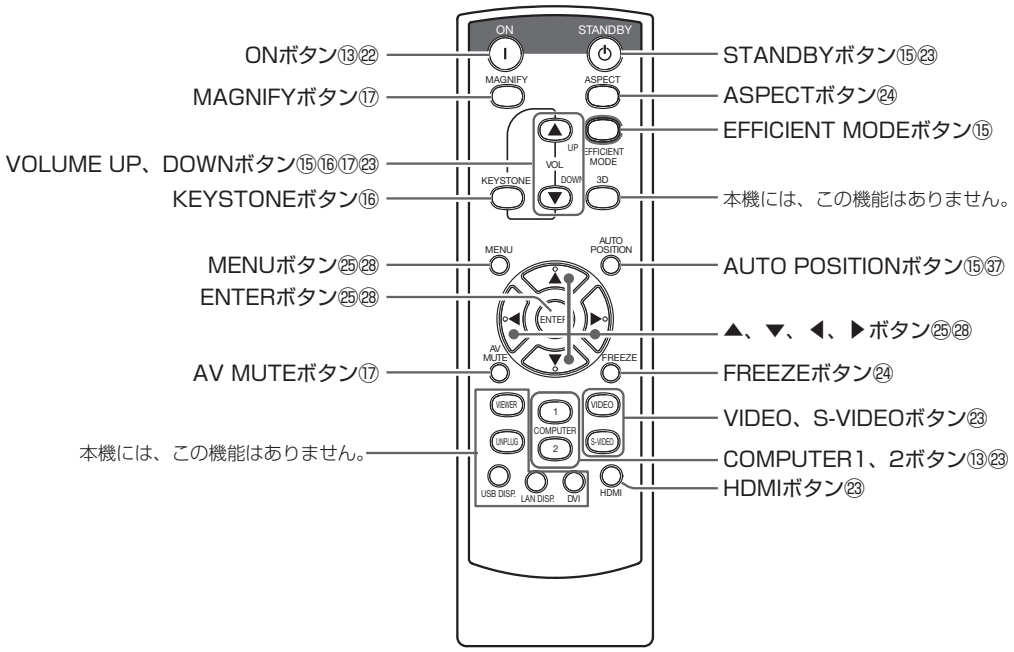
※：コンピューターで本機を制御するときに使用します。くわしくは、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

底面部



※：チェーン等で結束できます。

リモコンのなまえ（◯は参照ページ）



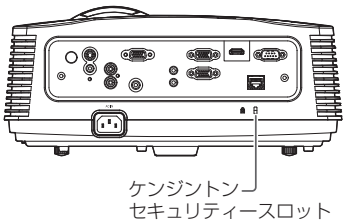
こんな機能もあります

ケンジントンセキュリティースロットについて

ケンジントンセキュリティースロットは、Kensington 社セキュリティーケーブルに対応しています。セキュリティースロットおよびセキュリティーケーブルについては、日本総輸入代理店 七陽商事株式会社までお問い合わせください。連絡先は、以下の通りです。

七陽商事株式会社 情報機器事業部
103-0007 東京都中央区日本橋浜町 2-55-7 ナナヨービル
TEL：03-3663-7740
FAX：03-3669-2367

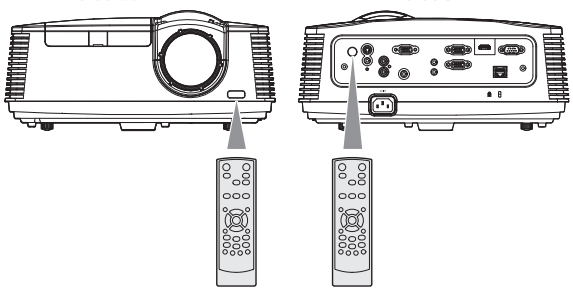
注）連絡先等は変更になる可能性があります。ご了承ください。



リモコンの使いかた

操作距離範囲

本体前面　　本体後面

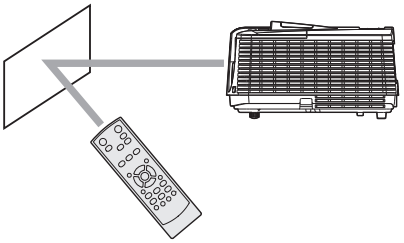


本体のリモコン受光部（前面または後面）に向け、正面で約10m 以内のところから操作します。

お知らせ

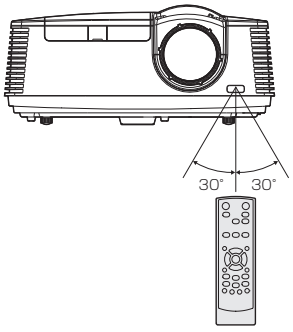
- リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の光などが直接当たらないようにしてください。
- リモコン受光部と蛍光灯は 2m 以上離してください。リモコンが誤動作することがあります。
- インバーター方式の蛍光灯が近くにある場合、リモコンが効きにくくなることがあります。
- リモコンと本体を近づけ過ぎると、リモコンが効きにくくなることがあります。

スクリーンに向けて操作する場合は、リモコンからスクリーンおよびスクリーンから本機までの合わせた距離が約 5m 以内にします。ただし、スクリーンによって操作可能範囲は異なります。

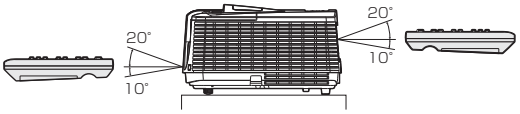


操作角度範囲

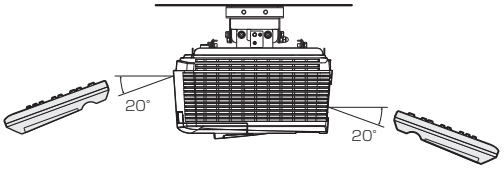
左右方向



上下方向（床置き時）



上下方向（天吊り時）



コンピューターの映像を見る

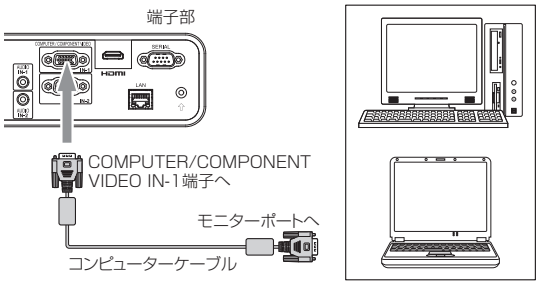
A. コンピューターと接続する

- 接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。
- 接続について、くわしくは販売店にお問い合わせください。

準備

- プロジェクターおよびコンピューターの電源が切れていることを確認する
- デスクトップタイプのコンピューターの場合、モニターに接続されているコンピューターケーブルをはずす

アナログ RGB（ミニ D-Sub15 ピン）端子付きコンピューターと接続する



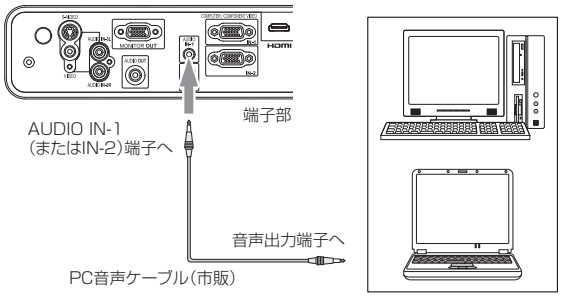
1 付属のコンピューターケーブルを本機の COMPUTER/COMPONENT VIDEO IN-1（または IN-2）端子に接続する

2 コンピューターのモニターポートにコンピューターケーブルのもう一方を接続する

お知らせ

- 接続するコンピューターの機種によっては、変換コネクターやアナログ RGB 出力アダプターなどが必要となる場合があります。
- 付属のコンピューターケーブル以外の長いケーブルを使用すると、映像が正常に映らないことがあります。
- 本機の COMPUTER/COMPONENT VIDEO IN-1 端子は DDC1/2B に対応しています。この規格に対応したコンピューターと接続した場合、コンピューターが自動的に本機の情報を読み出し、適切な映像を出力するように設定されます。
- DDC 対応のコンピューターと接続している場合、本機の電源コードを差し込んでからコンピューターを起動してください。

コンピューターの音声をプロジェクターから出力する



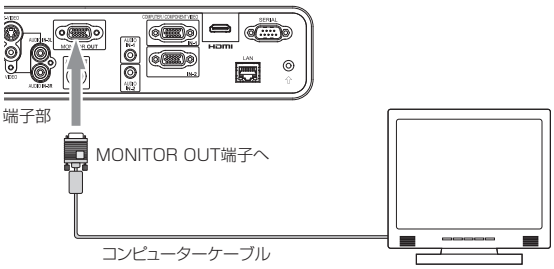
1 市販の PC 音声ケーブルを本機の AUDIO IN-1（または IN-2）端子に接続する

2 PC 音声ケーブルのもう一方をコンピューターの音声出力端子に接続する

お知らせ

- 本機の音声入力端子は、ステレオミニジャックです（ただし、スピーカー出力はモノラルになります）。接続するコンピューターの音声出力端子の形状に合わせてケーブルをお買い求めください。
  モノラル音声を入力した場合、スピーカーの音量レベルが約半分になります。
- 本機の音声入力は、コンピューターや DVD プレーヤーなどのライン出力に対応しています。マイクを接続する場合は、アンプ内蔵のものか、外付けのマイクアンプをご使用ください。

プロジェクターの投写映像をモニターで見る（デスクトップのみ）



1 モニターに接続されているコンピューターケーブルを本機の MONITOR OUT 端子に接続する

お知らせ

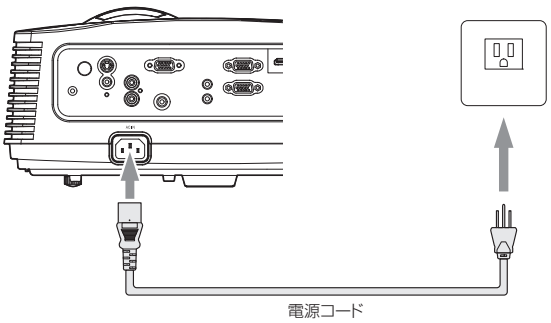
- 接続するケーブルによっては、正常に映像が映らないことがあります。
- 入力信号によっては、接続されているモニターに正常に映像が映らないことがあります。接続されているモニターの取扱説明書をご確認ください。
- COMPUTER/COMPONENT VIDEO IN-1（または IN-2）端子に入力している信号が出力されます。
- COMPUTER IN-1 と COMPUTER IN- 2の両方に信号が入力されている場合は、プロジェクター本体で現在または最後に選択した方が出力されます。
- スタンバイ時には MONITOR OUT は出力されません。

コンピューターの映像を見る（つづき）

B. 電源コードを差し込む

- まれに、停電または電源の電圧低下によってランプが消えた場合、再度電源を入れてもランプが点灯しないことがあります。その場合は、電源コードを一旦コンセントから抜き、約 10 分後に電源を入れなおしてください。
- 万一、本機が故障した場合においても安全性が確保できるように、漏電ブレーカーを備えたコンセントから本機に電源を供給してください。漏電ブレーカーを備えたコンセントがない場合は、工事を販売店にご依頼ください。

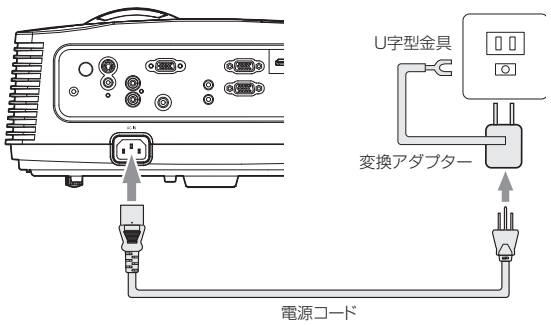
電源コンセントにアース端子の差込口が付いている場合



1 付属の電源コードを本機の電源コード差込口に接続する

2 電源コードのもう一方を電源コンセントに差し込む

電源コンセントにアース端子の差込口が付いていない場合



1 付属の電源コードを本機の電源コード差込口に接続する

2 電源コードのもう一方に付属の変換アダプターを取り付ける

3 変換アダプターのＵ字型金具を電源コンセントのアース端子に接続する

- 接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から抜いたあとに行ってください。
- 変換アダプターのアースをガス管・水道管・避雷針などへ絶対に取り付けないでください。
- 電源コンセントにアース端子がない場合は、アース工事を販売店にご依頼ください（有料）。

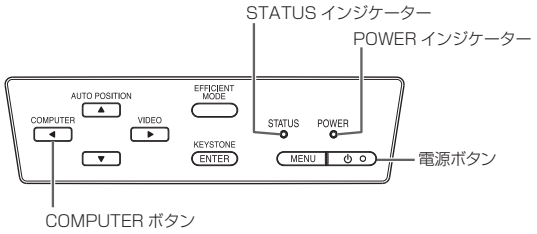
4 変換アダプターを電源コンセントに差し込む

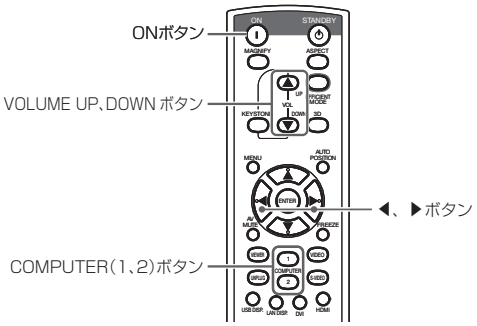
- 本機の電源は、必ずアース付き交流 100V のコンセントを使用してください。

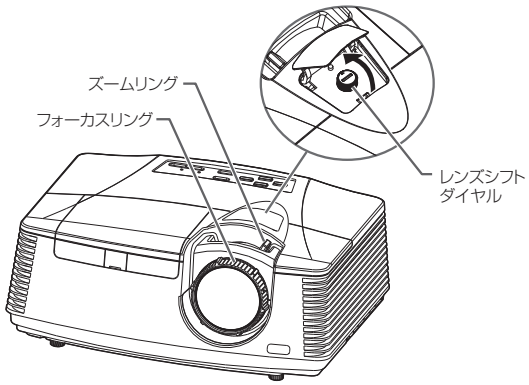
C. 投写する

準備

- レンズキャップをはずす
- コンピューターの電源を入れる

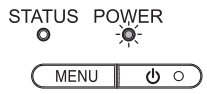






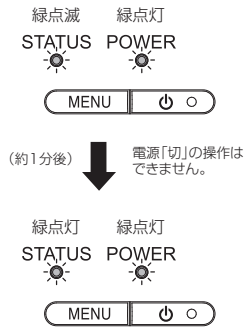
電源を入れる

1 POWERインジケーターが赤色に点灯しているのを確認する



- 電源プラグをコンセントに接続すると、POWERインジケーターが赤色に点灯します。
- 電源プラグをコンセントに接続すると、ファンが回転し、電源ボタンが動作しないときがあります。これは前回の使用時に冷却が不完全な状態で終了されたためです。ファンが停止してから電源ボタンを押して、再度点灯させてください。

2 本体の電源ボタン（⏻）またはリモコンのONボタンを押す



- ランプ点灯に1分程度かかる場合があります。
- まれにランプ点灯に失敗することがあります。数分たってから再度点灯させてください。
- 本体の電源ボタン（⏻）またはリモコンのONボタンを押したあと、またはランプモードが切り換わったあと、ランプが安定して点灯するまで映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- ランプモードは、電源を入れたときはクイックメニューまたは設置メニューまたはパワーセーブモードメニューでの設定にかかわらず「標準」となり、約1分後に設定しているモードに切り換わります。ランプ点灯後、約1分の間ランプモードの切り換えはできません。
- 使用中はレンズキャップをレンズに被せないでください。
- まれに、停電または電源の電圧低下によってランプが消えた場合、再度電源を入れてもランプが点灯しないことがあります。その場合は、電源コードを一旦コンセントから抜き、約10分後に電源を入れなおしてください。

ピントを調整する

3 フォーカスリングを回してピントを調整する

- ピントは、画面中央で調整することをおすすめします。

入力を切り換える

4 リモコンのCOMPUTER（1または2）ボタンまたは本体のCOMPUTERボタンを押す

- 本体のCOMPUTERボタンを押すごとに入力が「COMPUTER1」→「COMPUTER2」→「HDMI」と切り換わります。
- ノートタイプのコンピューターの場合、コンピューター側の設定を変更しないと映像が投写されない場合があります。くわしくは15ページをご覧ください。
- 画面がちらつくときは、リモコンの◀または▶ボタンを押してちらつきをなくしてください。

設置する

5 所定の画面サイズが得られるように投写距離を調整して設置する

- スクリーンから本機までの距離は、次ページの表を目安にして設置してください。

6 本機とスクリーンが垂直になるように設置する

- 本機とスクリーンが垂直にならない場合は、角度調整を行ってください。（16ページ参照）

7 ズームリングを回して投写画面サイズを調整する

- 設置する場所については、あらかじめ4～7ページの「安全のために必ずお守りください」をお読みください。
- スクリーンに直接照明などがあたらないようにしてください。映像がぼやけて見えることがあります。
- 天吊りにするなどの設置工事は必ず教育を受けた専門の工事業者に依頼してください。くわしくは44ページをご覧ください。

8 レンズシフトダイヤルを回して画面位置を合わせる

- レンズシフト動作中は、レンズ開口部に手などをはさまないよう、注意してください。

必要に応じて、操作 3 ～ 8 の設定を微調整してください。

コンピューターの映像を見る（つづき）

● 画面サイズと投写距離

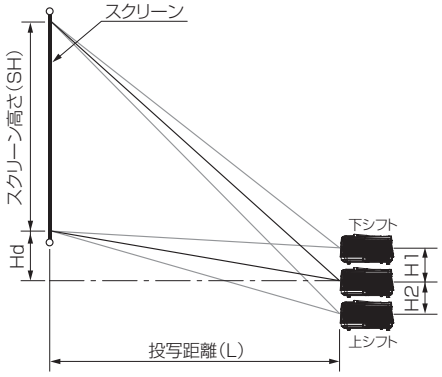
下記の表を参考にスクリーンサイズと投写距離を決めてください。

●設置する場所については、あらかじめ４～７ページの「安全のために必ずお守りください」をお読みください。

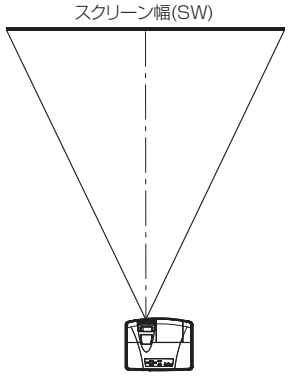
●表の中の数値は、実際と数%誤差が生じることがあります。

●レンズシフト高さは、工場出荷時の位置からの値を示しています。

【垂直方向】



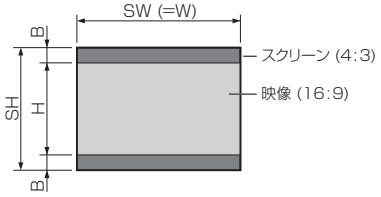
【水平方向】



スクリーンサイズ（16:9）			Hd（cm）	投写距離 L		レンズシフト高さ	
（形）	幅 SW（cm）	高さ SH（cm）		最短（m）	最長（m）	H1（cm）	H2（cm）
40	89	50	17	1.2	1.8	7	6
60	133	75	25	1.8	2.7	11	9
80	177	100	34	2.4	3.6	14	12
100	221	125	42	3.1	4.6	18	16
120	266	149	50	3.7	5.5	21	19
150	332	187	63	4.6	6.9	27	23
200	443	249	84	6.2	9.2	36	31
250	553	311	105	7.7	-	45	39
300	664	374	126	9.3	-	54	47

スクリーンサイズが 4:3 の場合

スクリーンと映像の寸法の関係は下記のようになります。



●映像のアスペクト比が 16:9 の場合

スクリーンサイズ（4:3）			投写映像サイズ（16:9）			B（cm）	Hd（cm）	投写距離 L		レンズシフト高さ	
（形）	幅 SW（cm）	高さ SH（cm）	（形）	幅 W（cm）	高さ H（cm）			最短（m）	最長（m）	H1（cm）	H2（cm）
40	81	61	37	81	46	8	15	1.1	1.6	7	6
60	122	91	55	122	69	11	23	1.7	2.5	10	9
80	163	122	73	163	91	15	31	2.2	3.3	13	11
100	203	152	92	203	114	19	38	2.8	4.2	16	14
120	244	183	110	244	137	23	46	3.4	5.0	20	17
150	305	229	138	305	171	29	58	4.2	6.3	25	21
200	406	305	184	406	229	38	77	5.7	8.4	33	29
250	508	381	229	508	286	48	96	7.1	-	41	36
300	610	457	275	610	343	57	115	8.5	-	49	43

音量を調整する

9 VOLUME（▲UP または▼DOWN）ボタンを押して音量を調整する

- メニューが表示されているときは、VOLUME ボタンははたらきません。

電源を切る

以下のようにして電源を切ってください。ランプ点灯後 30 分以内に電源を切ることを繰り返すと、ランプにダメージを与える場合があります。

10 本体の電源ボタン（⏻）またはリモコンの STANDBY ボタンを押す

- 「電源オフ時は再度電源ボタンを押して STATUS インジケーターが消えるまでクーリングしてください」のメッセージが表示されます。
- この状態を解除するには、本体の電源ボタン（⏻）またはリモコンの STANDBY ボタン以外のボタンを押してください。またはボタンを押さなくても、10 秒後にメッセージは消えます。

11 本体の電源ボタン（⏻）またはリモコンの STANDBY ボタンをもう一度押す

- 光源ランプが消灯し、スタンバイ状態になります。このとき、STATUS インジケーターが点滅します。

12 STATUS インジケーターの緑点滅が消えるまで、約 90 秒間そのまま待つ

13 電源プラグをコンセントから抜く

- POWER インジケーターが消灯します。
- STATUS インジケーターの点滅中またはランプの点灯中に電源プラグを抜いた場合は、プロジェクターを冷却するため、10 分間電源を切ったままにしておいてください。ランプを再度点灯させる場合は、本体の電源ボタン（⏻）またはリモコンの ON ボタンを押してください。ランプがすぐに点灯しない場合は、数分たってから再度本体の電源ボタン(⏻)またはリモコンの ON ボタンを押してください。それでもランプが点灯しない場合は、ランプを交換してください。
- 必要なときは、電源プラグをコンセントから抜いたあと、コンピューターと接続しているケーブルを外します。

ダイレクトパワーオフ

本機は、電源ボタンを押さずに電源コードを抜いて電源を切ることができます。
ダイレクトパワーオフを行う場合は、次のことに注意して行ってください。

- ランプ点灯後、STATUS インジケーターの点滅中はダイレクトパワーオフを行わないでください。ランプ寿命に影響する恐れがあります。
- ダイレクトパワーオフした場合、すぐに電源を入れないでください。（約 10 分間お待ちください。）すぐに電源を入れるとランプ寿命に影響する恐れがあります。
- ダイレクトパワーオフする前には必ずメニュー画面を閉じてください。メニュー操作中にダイレクトパワーオフすると、設定内容が記憶されない場合があります。
- ネットワーク機能を使用してプロジェクターを制御している状態で電源を切ると、ProjectorView などのアプリケーションソフトがはたらかなくなります。くわしくは、CD-ROM の中の「LAN 制御 UTILITY 操作説明書」をご覧ください。

ノートタイプの場合

ノートタイプのコンピューターと接続した場合、映像が投写されない場合があります。そのときは、コンピューターの信号を外部に出力させる設定を行ってください。設定のしかたは、コンピューターによって異なりますので、コンピューターの取扱説明書をご覧ください。

- 外部出力させる操作の例
  「Fn」キー＋「F1」～「F12」キーのいずれか（機種によって異なります）を押す。

AUTO POSITION ボタンによる調整

コンピューターの映像がずれるときは以下の操作を行ってください。

1 できるだけ明るい画面（ゴミ箱などのウィンドウを全画面表示にするなど）にする

2 スクリーンセーバーがはたらいているときは、スクリーンセーバーを解除する

3 AUTO POSITION ボタンを押す
入力信号に最適な設定になるように自動調整が行われます。

- ビデオ機器系の信号（53 ページの *4 の付いた信号）を入力しているときに AUTO POSITION ボタンを押すと、次のいずれかの調整モードを選択する画面が表示されます。
  - 「自動調整」：コンピュータ機器から信号を入力しているときに適したモードです。
  - 「ビデオ信号」：DVD 等のビデオ機器から信号を入力しているときに適したモードです。
    （このモードにすると、解像度（メモリー記録）メニューによる調整（32 ページ）は行えません。）
    この場合、◀または▶ボタンを押して適切なモードを選択し、ENTER ボタンを押してください。
- 数回、AUTO POSITION ボタンを押してもまだずれる場合は、信号設定メニューで設定を変更して画面の位置を合わせてください（37 ページ参照）。

パワーセーブモード

本体またはリモコンの EFFICIENT MODE ボタンを押すとパワーセーブモードメニューが表示され、ランプモード、スタンバイモード、オートパワーオフの設定ができます。（各設定項目の詳細については、30 ページをご覧ください。）

1 EFFICIENT MODE ボタンを押す

- パワーセーブモードメニューが表示されます。

2 ▲、▼ボタンを押して設定したい項目を選ぶ

3 ◀、▶ボタンを押して設定する

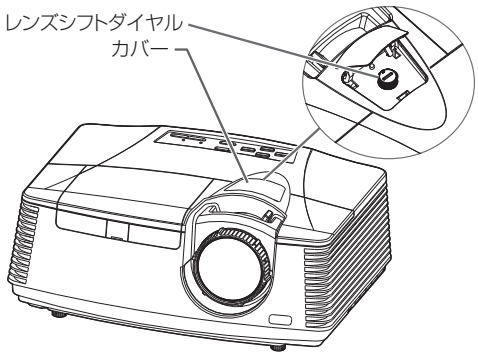
4 操作 2 、3 を繰り返して設定する

5 パワーセーブモードメニューを消すときは、EFFICIENT MODE ボタンをもう一度押す

コンピューターの映像を見る（つづき）

投写した映像の位置を調整する（レンズシフト）

投写した映像がスクリーンからはみだすときは、設置位置を調整するか、レンズシフトダイヤルでレンズ位置を調整してください。



1 本体上部のカバーを押してカバーを開ける

2 レンズシフトダイヤルを回してレンズ位置を調整する

- 右（天吊りの場合は左）に回すと、映像が上に移動します。
- 左（天吊りの場合は右）に回すと、映像が下に移動します。

お知らせ

- レンズシフト動作中、レンズ開口部に手などをはさまないよう、注意してください。
- レンズシフト動作中は画面がちらつくことがあります。
- 投写画面を画面可動範囲の上端または下端付近に設定した場合、画面の歪みが大きくなったり、解像度が低下したり、画面隅に影が発生したりすることがあります。

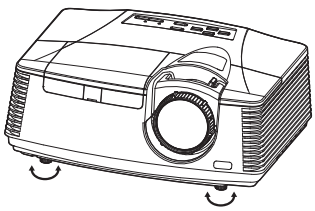
画面の傾きやひずみを調整する

スクリーンに角度がついていて画面が台形にひずんでいるときは、以下のようにして投写角度を調整してください。

1 本体を投写させたい角度まで持ち上げる

- 傾き角を前後方向に対して 15° 以内に設置してください（角度調整脚のみによる角度調整角は、最大 6° になります）。

2 角度調整脚を左右に回して調整する



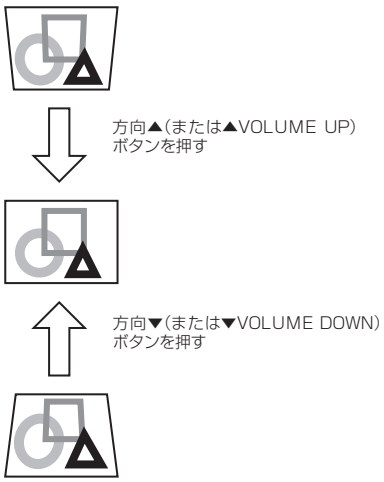
角度調整脚を伸ばした状態ではプロジェクターを運搬しないでください。伸ばした状態で運搬すると、調整脚が破損する恐れがあります。

スクリーン上の映像に縞模様が見えるときは

スクリーンとの干渉によるもので、故障ではありません。
スクリーンを交換するか、本機のフォーカスを少しずらしてみてください。（13、23 ページ参照）

画面が台形にひずむときは

スクリーンと本機が直角になっていないと画面が台形になってしまいます。
本機、およびスクリーンを調整しても直角にならないときは本体、またはリモコンの KEYSTONE ボタンを押して「台形補正」を表示させてから、本体の▲、▼ボタンまたはリモコンの▲ VOLUME UP または方向▲、▼ VOLUME DOWN または方向▼ボタンを押して調整します。



- 台形補正は、レンズ位置（レンズシフトダイヤル）が工場出荷時の位置にあるときに最適な補正が可能になります。（工場出荷時の位置については、14 ページをご覧ください。）
- 垂直方向の台形ひずみは補正できますが、補正範囲には限度があります。

お知らせ

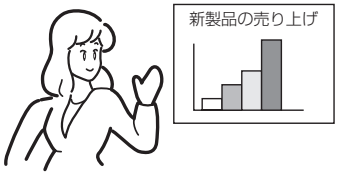
- 台形補正時には調整値が表示されますが、投写角度とは異なります。
- 台形補正の調整値の範囲は、設置状態や入力信号、アスペクト比の設定によって異なります。
- 本体とスクリーンの設置条件によっては、正しく長方形にならない場合や、アスペクト比が 4:3 にならない場合があります。
- 台形補正を行うと、解像度が低下します。また、細かい模様の映像での縞の発生、直線の折れ曲がり等の現象が見られますが、故障ではありません。
- 入力信号によっては、画像が正常に表示されないことがあります。

プレゼンテーションを演出する

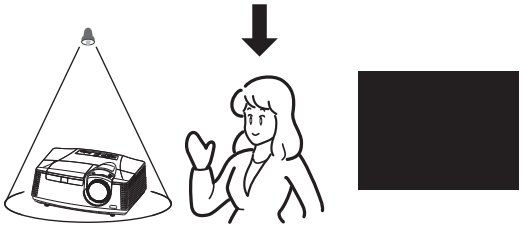
プレゼンテーションを行う上で便利な使い方を紹介します。

映像と音声を一時的に消す（AV ミュート）

スピーチやプレゼンテーション映像以外のものに視線を集中させたいときなど、一時的に映像と音声を消すことができます。



「新製品の売り上げは、このグラフのとおりです。」



「これが、その新製品です。」

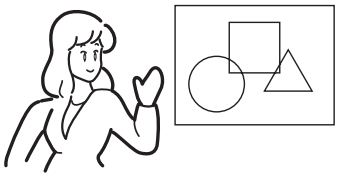
操作のしかた

1 リモコンの AV MUTE ボタンを押す

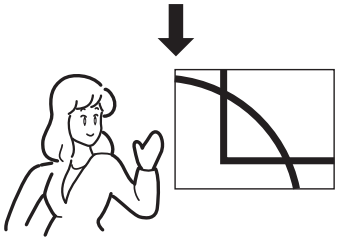
- 映像が真っ暗になり、音声が消えます。
- もう一度 AV MUTE ボタンを押すと、通常画面に戻ります。

画面を拡大して見る（画面拡大機能）

画面の一部を拡大して見ることができます。



「この丸と四角の交点にご注目ください。」



「少しわかりにくいので拡大してみます。」

表示のしかた

1 リモコンの MAGNIFY ボタンを押す

- 画面拡大表示になります。
- もう一度 MAGNIFY ボタンを押すと、通常画面に戻ります。

拡大率を変更したいときは

1 リモコンの▲ VOLUME UP または▼ VOLUME DOWN）ボタンを押す

- ▲ VOLUME UP ボタンを押すと拡大率が大きく、▼ VOLUME DOWN ボタンを押すと小さくなります。

拡大させる範囲を変更したいときは

1 方向ボタン（▲、▼、◀、▶）を押す

お知らせ

- 画面拡大表示中は、音量調整はできません。
- 画面拡大表示中は、信号設定メニューは表示できません。
- 画面拡大表示は、COMPUTER IN 端子（1 と 2）からの映像を表示しているときのみはたらきます。HDMI 端子、VIDEO 端子または S-VIDEO 端子からの映像を表示しているときははたらきません。
- 入力信号によっては、MAGNIFY がはたらかない場合があります。
- 対応信号については 53 ページをご覧ください。

プレゼンテーションを演出する（つづき）

起動時および AV ミュート時などの画面を変更する

本機は起動画面 (スプラッシュスクリーン) の画面を任意の映像に変更することができます。また、変更した画面は、メニュー設定により、ミュート時や無信号時のバックカラーの代わりに表示させることもできます。

設定のしかた

1 コンピュータの映像を表示させる
（コンピュータの映像の表示のしかたについては、11 ～ 16 ページをご覧ください。）

2 登録する映像を表示させる

3 設置メニューを表示させる (メニュー設定のしかたは 28 ページ参照)

4 ▲、▼ボタンを押して、「イメージキャプチャー」を選ぶ

5 ENTER ボタンを押す
- 設定メニューが表示されます。

背景の色を設定する

(サイズを× 1 または× 4 に設定するときのみ選びます。)

6 ▲、▼ボタンを押して、「バックカラー」を選ぶ

7 ◀、▶ボタンを押して、背景にしたい色を設定する (GRAY, RED, GREEN, BLUE, BLACK, WHITE, RED50%, GREEN50%, BLUE50%)

画像の大きさを設定する

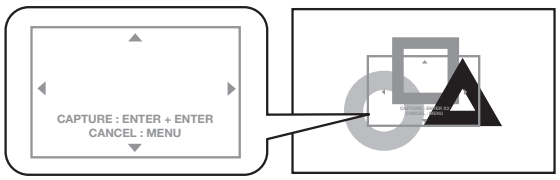
8 ▲、▼ボタンを押して、「サイズ」を選ぶ

9 ボタンを押して、設定する (× 1、× 4、FULL) 画像を取込む

画像を取込む

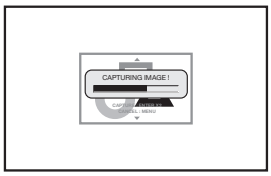
10 ▲、▼ボタンを押して、「キャプチャー」を選ぶ

11 ENTER ボタンを押す
- 赤枠が表示されます。(赤枠の大きさは、640× 360 画素です。)
- 赤枠の最外形までの映像が取り込まれます。
- 自動的に NATIVE 表示されます。



12 取り込む画像が赤枠内に入るように、コンピューター側で画像の大きさを調整する
- ▲、▼、◀、▶ボタンを押すと、赤枠が移動します。
- 表示画面の外周へは赤枠を移動できません。
- MENU ボタンを押すとキャンセルされます。

13 ENTER ボタンを 2 回押す
- 取り込みを開始します。

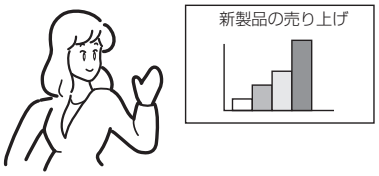


- 取り込みが完了すると、取り込んだ画像が数秒間表示されます。

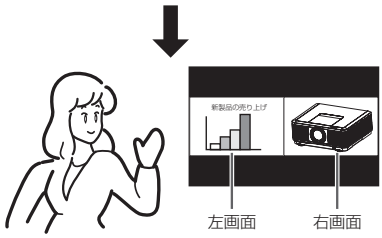
- 起動画面は元に戻せません。（オプションメニューの RESET ALL の操作をしても工場出荷時の画面には戻りません。）起動画面を変更したいときは、別の画像を取り込んでください。
- 次の起動時より、取り込んだ画像が表示されます。表示されないときは、設置メニューのスプラッシュスクリーンの設定が「OFF」になっていないか、確認してください。(30 ページ参照)
- 取り込んだ画像をミュート時に表示させたいときは、設置メニューの AV ミュートモードの設定を「IMAGE」にしてください。(30 ページ参照)
- 設置メニューのバックカラーの設定を「IMAGE」にしておくと無信号時の画面が取り込んだ画像になります。
- ミュート時、無信号時は、取り込み画像の表示に少し時間がかかります。
- 入力信号によっては画像を取り込めない場合があります。

コンピューター映像とビデオ映像を同時に見る（2 画面表示）

画面を左右 2 分割し、左の画面にコンピューター映像、右の画面にビデオ映像を表示させることができます。



売り上げは、このように順調に伸びています。



その成功の秘訣をビデオ映像で紹介します。

表示のしかた

1 **オプションメニューを表示させる**（メニュー設定のしかたは 28 ページ参照）

2 **▲または▼ボタンを押して 2 画面表示を選択する**

3 **ENTER ボタンを押す**

- 2 画面表示になり、左画面と右画面に次の映像が表示されます。
  - 左画面：「COMPUTER1」、「COMPUTER2」、「HDMI」のうち、最後に選んだ入力の映像
  - 右画面：「VIDEO」、「S-VIDEO」のうち、最後に選んだ入力の映像

- MENU ボタンを押すと、通常画面に戻ります。
- 2 画面表示中は、左画面の音声が出力されます。
- 2 画面表示中は、左画面で選んでいる入力の通常画面時の画質調整が全画面に反映されます。
- 無信号時は、ブルーの画面が表示されます。
- 左画面にインターレース信号を入力すると映像が上下に細かく震えることがありますが、故障ではありません。
- 60Hz と 50Hz のビデオ信号を同時に表示した場合、動画が不自然になることがあります。その場合は、左画面の信号設定メニューの詳細設定の垂直同期を OFF にしてください（32 ページ参照）。
- 設置メニューのバックカラーを IMAGE に設定している場合は、2 画面表示にはできません。

左画面・右画面の入力を切り換えたいときは

- 左画面の入力を切り換えたいときは、リモコンの◀ボタンを押します。
- 右画面の入力を切り換えたいときは、リモコンの▶ボタンを押します。

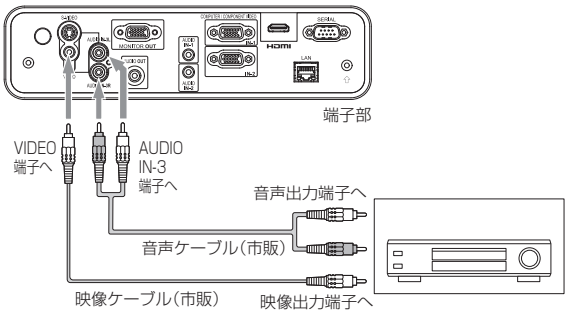
ビデオ機器の映像を見る

A. ビデオ機器と接続する

- 接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。
- 接続について、くわしくは販売店にお問い合わせください。

準備

- プロジェクターおよびビデオ機器の電源が切れていることを確認する



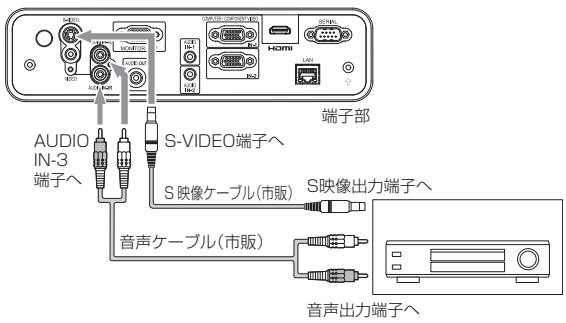
1 市販の映像ケーブルを本機の VIDEO 端子に接続する

2 ビデオ機器の映像出力端子に映像ケーブルのもう一方を接続する

3 市販の音声ケーブルを本機の AUDIO IN-3 端子に接続する

4 ビデオ機器の音声出力端子に音声ケーブルのもう一方を接続する

S 映像出力端子付きビデオ機器と接続する



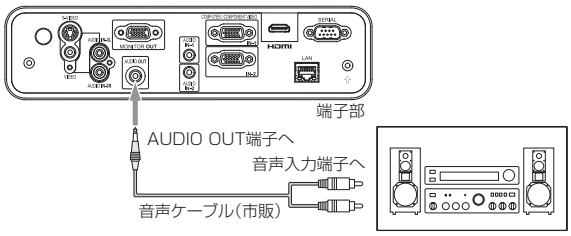
1 市販の S 映像ケーブルを本機の S-VIDEO 端子に接続する

2 ビデオ機器の S 映像出力端子に S 映像ケーブルのもう一方を接続する

3 市販の音声ケーブルを本機の AUDIO IN-3 端子に接続する

4 ビデオ機器の音声出力端子に音声ケーブルのもう一方を接続する

プロジェクターに接続している機器の音声を外部スピーカーから出すときは



1 市販の音声ケーブルを本機の AUDIO OUT 端子に接続する

- このとき、内部スピーカーからの音声は出力されなくなります。

2 外部スピーカーと接続されたアンプの音声入力端子に音声ケーブルのもう一方を接続する

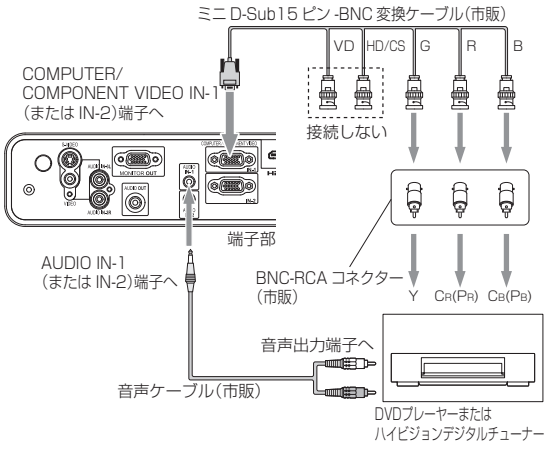
お知らせ

- AUDIO OUT 端子からの音声について
  - AV MUTE ボタンを押すと、音声が消えます。
  - ▲ VOLUME UP または、▼ VOLUME DOWN ボタンを押すと、音量が変わります。

DVD プレーヤーまたはハイビジョンデジタルチューナーと接続する

DVD プレーヤーまたはハイビジョンデジタルチューナーなど、コンポーネントビデオ出力端子を持つ機器と本機を接続するときは、COMPUTER/COMPONENT VIDEO IN-1（または IN-2）端子に接続します。

- 接続はミニ D-Sub15 ピン -BNC 変換ケーブルをご使用ください。DVD プレーヤーとの接続には BNC-RCA コネクターが必要になります。



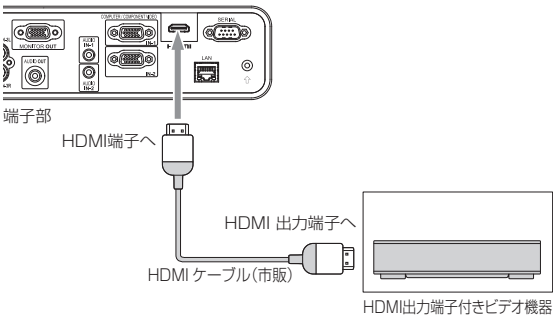
お知らせ

- DVD プレーヤーおよびハイビジョンデジタルチューナーによっては映像が正しく投写できない場合があります。
- R、G、B 出力を持つハイビジョン機器と接続するときは、信号設定メニューの COMPUTER 入力の設定を「RGB」にしてください。（32 ページ参照）

HDMI 出力端子付きビデオ機器と接続する

接続は、HDMI ロゴの付いている、カテゴリー 2 対応の市販の HDMI ケーブルをご使用ください。

- 音声入力用に別途ケーブルの接続は必要ありません。HDMI ケーブルの接続のみで映像、音声が入力されます。



1 市販の HDMI ケーブルを本機の HDMI 端子に接続する

2 ビデオ機器の HDMI 出力端子に HDMI ケーブルのもう一方を接続する

お知らせ

- HDMI 音声が出力されないときは、本機とビデオ機器を接続している状態でビデオ機器の電源を一度切り、電源を入れ直すと出力されるようになります。
- 分配器を使って映像機器と接続する場合は、HDMI1.3 Deep Color 規格対応の分配器をご使用ください。HDMI 1.3 規格適合品以外を使用すると、映像が出ないなど正常に動作しない場合があります。

デジタル機器との接続について

本機とデジタル機器（DVD プレーヤーなど）を HDMI 端子で接続した場合、機器によっては映像の黒レベルが沈み、黒つぶれすることがあります。これはデジタル映像伝送の規格が 2 種類あり、黒レベルの設定がそれぞれ異なるためです。デジタル機器によっては異なる規格の信号を出力するものがあります。

- デジタル機器には、デジタル出力信号規格を切り換える機能が搭載されているものがあります。その場合は、下記のように切り換えてください。
  エクスパンドまたはエンハンスド→ノーマル
  詳細はデジタル機器の取扱説明書をご参照ください。
- デジタル機器にデジタル出力信号規格を切り換える機能が搭載されていない場合は、画質メニューのアドバンスドメニュー内の入力レベルの設定をご使用の機器に合わせて設定してください。

B. 電源コードを差し込む

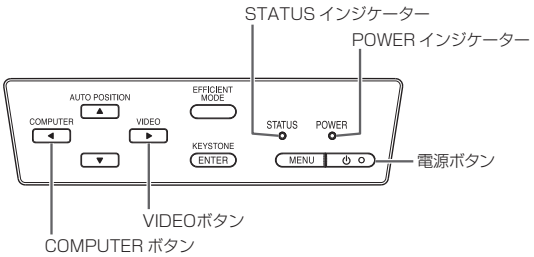
「コンピューターの映像を見る」の場合と同じです。12 ページをご覧ください。

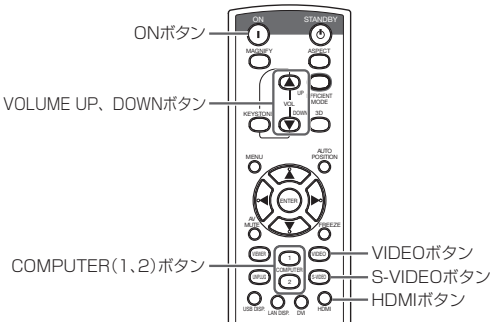
ビデオ機器の映像を見る（つづき）

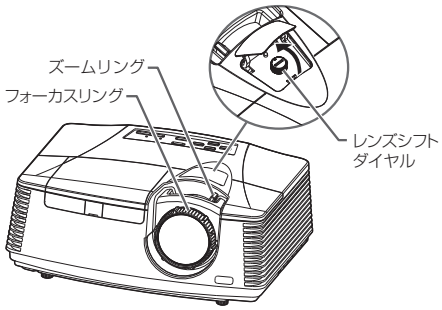
C. 投写する

準備

- レンズキャップをはずす
- ビデオ機器の電源を入れる

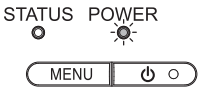






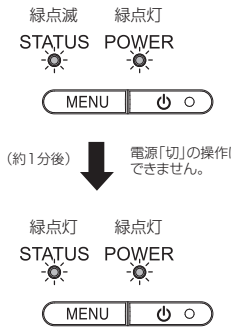
電源を入れる

1 POWER インジケーターが赤色に点灯しているのを確認する



- 電源プラグをコンセントに接続すると、POWER インジケーターが赤色に点灯します。
- 電源プラグをコンセントに接続すると、ファンが回転し、電源ボタンが動作しないときがあります。これは前回の使用時に冷却が不完全な状態で終了されたためです。ファンが停止してから電源ボタンを押して、再度点灯させてください。

2 本体の電源ボタン（⏻）またはリモコンの ON ボタンを押す



- ランプ点灯に 1 分程度かかる場合があります。
- まれにランプ点灯に失敗することがあります。数分たってから再度点灯させてください。
- 本体の電源ボタン（⏻）またはリモコンの ON ボタンを押したあと、またはランプモードが切り換わったあと、ランプが安定して点灯するまで映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- ランプモードは、電源を入れたときはクイックメニューまたは設置メニューまたはパワーセーブモードメニューでの設定にかかわらず「標準」となり、約 1 分後に設定しているモードに切り換わります。ランプ点灯後、約 1 分の間ランプモードの切り換えはできません。
- 使用中はレンズキャップをレンズに被せないでください。
- まれに、停電または電源の電圧低下によってランプが消えた場合、再度電源を入れてもランプが点灯しないことがあります。その場合は、電源コードを一旦コンセントから抜き、約 10 分後に電源を入れなおしてください。

ピントを調整する

3 フォーカスリングを回してピントを調整する
- ピントは、画面中央で調整することをおすすめします。

入力を切り換える

4 リモコンの VIDEO、S-VIDEO または HDMI ボタン、または本体の VIDEO ボタンを押す
- 本体の VIDEO ボタンを押すごとに入力が「VIDEO」→「S-VIDEO」と切り換わります。
- COMPUTER/COMPONENT VIDEO IN-1 または IN-2 端子に接続している DVD プレーヤーやハイビジョンデジタルチューナーの映像を見るときは、COMPUTER（1 または 2）ボタンまたは本体の COMPUTER ボタンを押します。

設置する

5 所定の画面サイズが得られるように投写距離を調整して設置する
- スクリーンから本機までの距離は、14 ページの表を目安にして設置してください。

6 本機とスクリーンが垂直になるように設置する
- 本機とスクリーンが垂直にならない場合は、角度調整を行ってください。（16 ページ参照）

7 ズームリングを回して投写画面サイズを調整する

8 レンズシフトダイヤルを回して画面位置を合わせる
- レンズシフト動作中は、レンズ開口部に手などをはさまないよう、注意してください。

必要に応じて、操作 3 ～ 8 の設定を微調整してください。

音量を調整する

9 VOLUME（UP または DOWN）ボタンを押して音量を調整する
- メニューが表示されているときは、VOLUME ボタンははたらきません。

電源を切る

以下のようにして電源を切ってください。ランプ点灯後 30 分以内に電源を切ることを繰り返すと、ランプにダメージを与える場合があります。

10 本体の電源ボタン（⏻）またはリモコンの STANDBY ボタンを押す
- 「電源オフ時は再度電源ボタンを押して STATUS インジケーターが消えるまでクーリングしてください」のメッセージが表示されます。
- この状態を解除するには、本体の電源ボタン（⏻）またはリモコンの STANDBY ボタン以外のボタンを押してください。またはボタンを押さなくても、10 秒後にメッセージは消えます。

11 本体の電源ボタン（⏻）またはリモコンの STANDBY ボタンをもう一度押す
- 光源ランプが消灯し、スタンバイ状態になります。このとき、STATUS インジケーターが点滅します。

12 STATUS インジケーターの緑点滅が消えるまで、約 90 秒間そのまま待つ

13 電源プラグをコンセントから抜く
- POWER インジケーターが消灯します。
- STATUS インジケーターの点滅中またはランプの点灯中に電源プラグを抜いた場合は、プロジェクターを冷却するため、10 分間電源を切ったままにしておいてください。ランプを再度点灯させる場合は、電源ボタン（⏻）を押してください。ランプがすぐに点灯しない場合は、数分たってから再度電源ボタン（⏻）を押してください。それでもランプが点灯しない場合は、ランプを交換してください。
- 必要なときは、電源プラグをコンセントから抜いたあと、ビデオ機器と接続しているケーブルを外します。

ビデオ機器の映像を見る（つづき）

ダイレクトパワーオフ

本機は、電源ボタンを押さずに電源コードを抜いて電源を切ることができます。
ダイレクトパワーオフを行う場合は、次のことに注意して行ってください。

- ランプ点灯後、STATUS インジケーターの点滅中はダイレクトパワーオフを行わないでください。ランプ寿命に影響する恐れがあります。
- ダイレクトパワーオフした場合、すぐに電源を入れないでください。（約 10 分間お待ちください。）すぐに電源を入れるとランプ寿命に影響する恐れがあります。
- ダイレクトパワーオフする前には必ずメニュー画面を閉じてください。メニュー操作中にダイレクトパワーオフすると、設定内容が記憶されない場合があります。
- ネットワーク機能を使用してプロジェクターを制御している状態で電源を切ると、ProjectorView などのアプリケーションソフトがはたらかなくなります。くわしくは、CD-ROM の中の「LAN 制御 UTILITY 操作説明書」をご覧ください。

静止画について

リモコンの FREEZE ボタンを押すと、映像が一時的に停止します。もう一度押すと通常画面に戻ります。

- 音声は通常どおり聞こえます。
- 静止画中に FREEZE ボタン以外のボタンを押しても通常画面に戻ります。（一部、戻らないボタンもあります。）
- 静止画を表示し続けた場合、残像が発生することがありますので長時間静止画を表示させないでください。

アスペクト比の切り換えついて

本機は、入力した映像のアスペクト比（縦横比）を切り換えて投写することができます。必要に応じて、リモコンの ASPECT ボタンを押してアスペクト比の設定を切り換えてください。

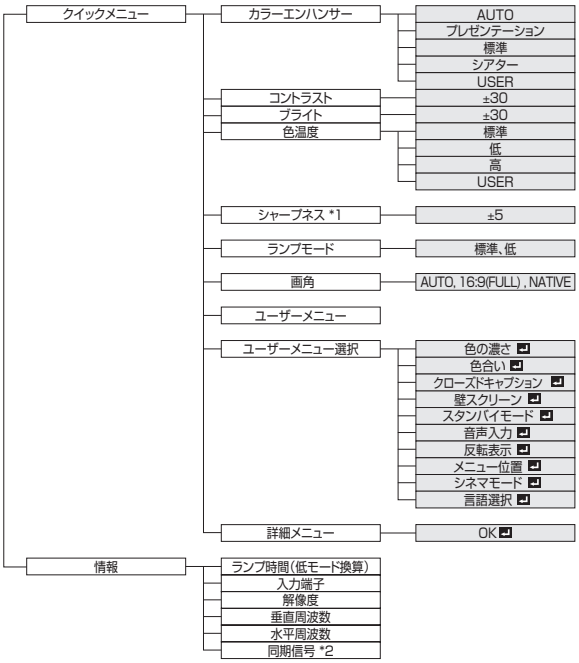
- アスペクト比の設定は、ASPECT ボタンを押すごとに「AUTO」→「16:9(FULL)」→「NATIVE」→「AUTO」と切り換わります。
  - 「AUTO」
    入力信号に合わせて自動的に最適なアスペクト比が選ばれます。通常はこれを選びます。
  - 「16:9(FULL)」
    入力信号の種類にかかわらず、投写映像が 16:9 のフルサイズ（1920 × 1080 画素）で表示されます。
  - 「NATIVE」
    入力信号のままの大きさで表示されます。
- アスペクト比の切り換えは、クイックメニューまたはオプションメニューの「画角」で行うこともできます。

メニューを使って設定する

メニュー表示は 2 種類あり、リモコンの MENU ボタンを押すと下記の「クイックメニュー」がスクリーンに表示されます。さらに、クイックメニューの中の「詳細メニュー」を選んで ENTER ボタンを押すと、27 ページの「詳細メニュー」が表示されます。

- クイックメニューと詳細メニューの内容で同じものは機能も同じです。
- クイックメニューまたは詳細メニューを終了するには、メニュー表示中に MENU ボタンを押します。

クイックメニュー



*1: 信号の種類によって、選択できないことがあります。

*2: VIDEO IN、S-VIDEO IN 端子からの信号入力時は選択できません。

クイックメニューの設定のしかた

画面はコントラストの設定を例として説明しています。

1 MENU ボタンを押す

- クイックメニュー選択バーが表示されます。
- 情報メニューを表示させるときは、▶ボタンを押します。

2 ENTER ボタン (または▼ボタン) を押す

- 希望のメニューが表示されます。

3 ▲、▼ボタンを押して設定したい項目を選ぶ

4 ◀、▶ボタンを押して設定する

クイックメニューを消すときは

5 MENU ボタンを数回押す

- ボタンを押しても、メニュー画面の操作ができなくなることがあります。この場合、誤動作している可能性があります。このときは、一度電源プラグをコンセントから抜き、10 分以上たってからもう一度電源プラグをコンセントに接続してください。
- クイックメニューの調整は、外部からの入力信号が入力されている状態のとき行えます。

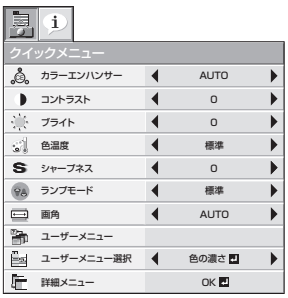
メニューを使って設定する（つづき）

クイックメニューで設定できること

本機では、以下の設定はメニュー画面を表示させて行います。

■ クイックメニュー　※外部信号が入力されていないと調整はできません。

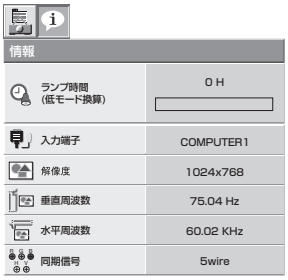
設定項目	設定	はたらき
カラーエンハンサー	AUTO	入力信号に適した設定になります。通常はこれを選びます。
	プレゼンテーション	明るくメリハリのある映像になります。
	標準	自然な映像になります。
	シアター	映画向けにしっとりした映像に設定されます。
	USER	詳細メニューの画質メニューで設定した値が反映されます。(35 ページ参照)
コントラスト	± 30	映像のコントラストを調整します。(34 ページ参照)
ブライト	± 30	映像の明るさを調整します。(34 ページ参照)
色温度	標準、低、高、USER	映像の色温度を調整します。。
シャープネス	± 5	映像の鮮鋭度を調整します。
ランプモード	標準	通常はこれを選びます。
	低	ランプの明るさを抑えるモードです。動作音が小さくなり、光源ランプの交換に至るまでの時間が長くなります。
画角	AUTO	入力信号に合わせて自動的に最適なアスペクト比が選ばれます。通常はこれを選びます。
	16:9(FULL)	入力信号にかかわらず、投写映像を 16:9 のフルサイズ (1920×1080 画素) で表示します。
	NATIVE	入力信号をそのままの大きさで表示します。
ユーザーメニュー		ユーザーメニュー選択で選んだメニュー項目が表示されます。
ユーザーメニュー選択		ユーザーメニューに表示する項目を選択します。
詳細メニュー		詳細メニューに移ります。



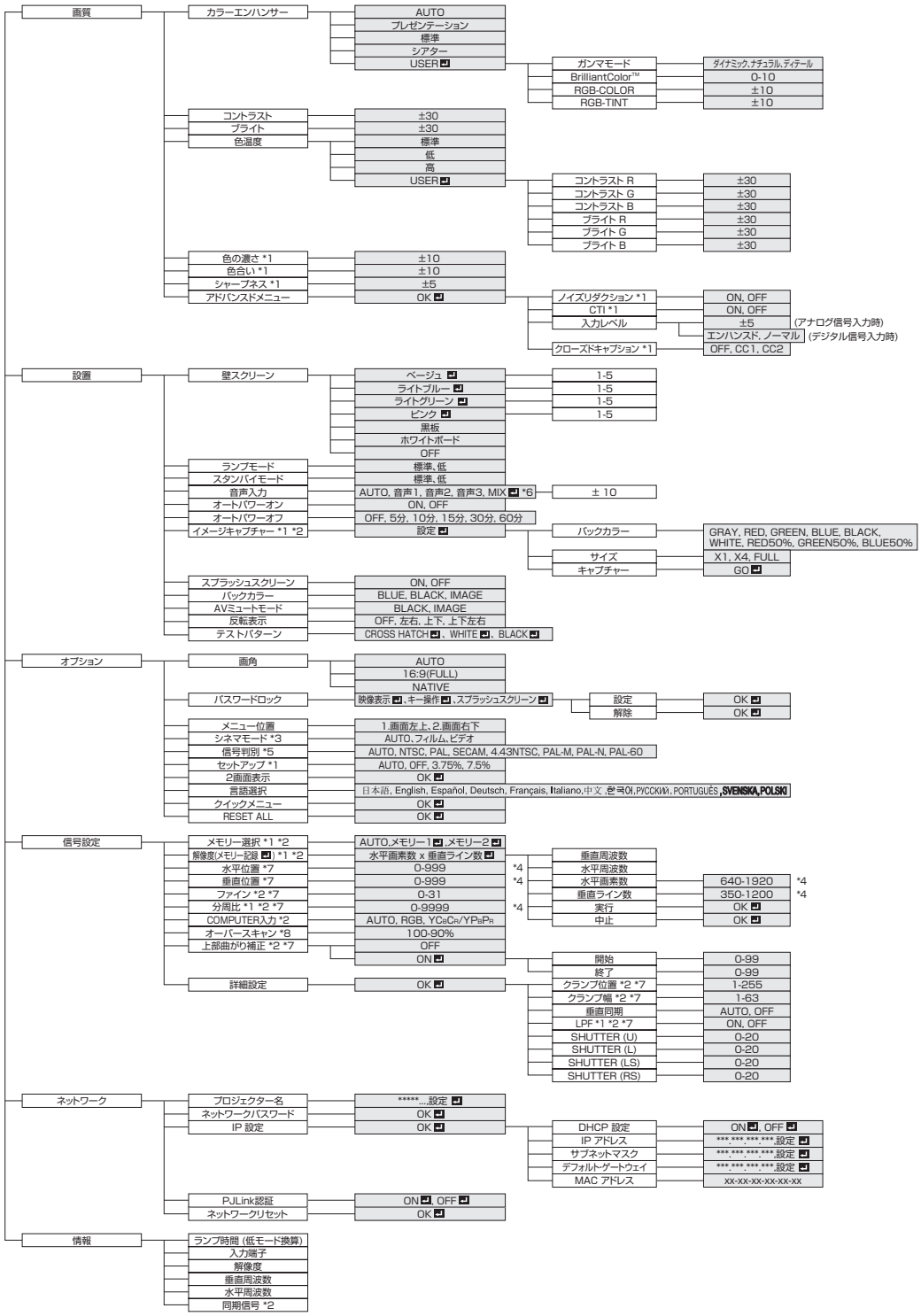
- 色温度は壁スクリーンの設定が OFF 以外のときは調整できません。
- カラーエンハンサーの切り換え時に、画像が乱れることがあります。
- ランプモードは、電源を入れたときは「標準」モードで起動します。「低」モードに設定している場合は、約 1 分で「低」モードに切り換わります。
- ランプモードを切り換えたとき、映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- ランプモードは頻繁に切り換えないでください。

■ 情報メニュー

設定項目	内容
ランプ時間 (低モード換算)	ランプモードを「低」にした場合の時間で換算したランプ使用時間が表示されます。 ● ランプモードを「標準」にして使用した場合、実際に使用した時間よりも長く表示されます。 ● ランプ使用時間が 10 時間以内の場合、0 Hが表示されます。10 時間を超えると、1時間単位で表示されます。 ● ランプ使用時間が 3750 時間を超えた場合、バーは黄色になります。4750 時間を超えた場合、赤色になります。 (ランプ寿命は 5000 時間です。)
入力端子	現在投写中の入力端子名が表示されます。
解像度	現在投写されている映像信号の解像度が表示されます。
垂直周波数	現在投写されている映像信号の垂直周波数が表示されます。
水平周波数	現在投写されている映像信号の水平周波数が表示されます。
同期信号	現在投写されている映像信号の同期信号形式が表示されます。



詳細メニュー



*1: 信号の種類によって、選択できないことがあります。
*2: VIDEO IN、S-VIDEO IN 端子からの信号入力時は選択できません。
*3: TV60、TV50、480i、576i、1080 p 信号入力時のみ選択できます。
*4: 信号の種類によって、選択範囲が変わります。
*5: VIDEO IN、S-VIDEO IN 端子からの信号入力時のみ選択できます。
*6: 入力ソースにHDMI を選んだ場合、音声入力の音声1、音声2、音声3 および MIX ↵は選択できません
*7: HDMI 入力時は選択できません。
*8: 画角の設定がNATIVE のときは、選択できません。

● メニュー画面上の↵マークのある項目を確定するためには、項目を選んでからENTER ボタンを押す必要があります。

メニューを使って設定する（つづき）

詳細メニューの設定のしかた

画面はオートパワーオフの時間設定を例として説明しています。

1 MENU ボタンを押す
- クイックメニューが表示されます。

2 「詳細メニュー」を選び、ENTER ボタン（または▼ボタン）を押す
- 詳細メニュー選択バーが表示されます。

3 ◀、▶ボタンを押して表示させたいメニューを選ぶ

4 ENTER ボタン（または▼ボタン）を押す
- 希望のメニューが表示されます。

5 ▲、▼ボタンを押して設定したい項目を選ぶ

6 ◀、▶ボタンを押して設定する

詳細メニューを消すときは

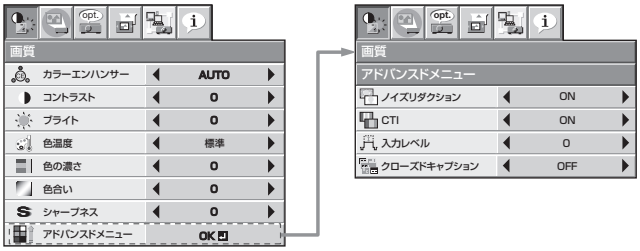
7 MENU ボタンを数回押す
- ボタンを押しても、メニュー画面の操作ができなくなることがあります。この場合、誤動作している可能性があります。このときは、一度電源プラグをコンセントから抜き、10 分以上たってからもう一度電源プラグをコンセントに接続してください。
- 画質メニュー、信号設定メニュー、および詳細設定メニューの調整は、外部からの入力信号が入力されている状態のとき行えます。

詳細メニューで設定できること

本機では、以下の設定はメニュー画面を表示させて行います。

■ 画質メニュー

※外部信号が入力されていないと調整はできません。



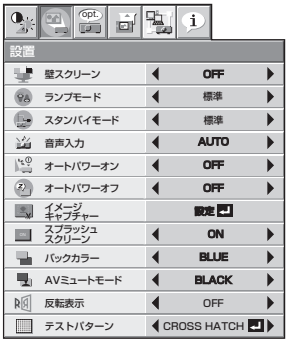
設定項目	設定	はたらき
カラーエンハンサー	AUTO	入力信号に適した設定になります。通常はこれを選びます。
	プレゼンテーション	明るくメリハリのある映像になります。
	標準	自然な映像になります。
	シアター	映画向けにしっとりした映像に設定されます。
	USER ↵	ガンマカーブ、色の濃さ、色合いをお好みに設定できます。(35 ページ参照)
コントラスト	± 30	映像のコントラストを調整します。(34 ページ参照)
ブライト	± 30	映像の明るさを調整します。(34 ページ参照)
色温度	標準、低、高、USER ↵	映像の色温度を調整します。
色の濃さ	± 10	映像の色の濃さを調整します。
色合い	± 10	映像の色合いを調整します。
シャープネス	± 5	映像の鮮鋭度を調整します。
アドバンスドメニュー	OK ↵	
ノイズリダクション	ON/OFF	ノイズが多い映像信号を入力した場合に、映像のノイズやざらつきを少なくすることができます。
CTI	ON/OFF	色境界部分の色にじみを改善します。
入力レベル	± 5	アナログ信号入力時:接続する機器によっては、映像信号が大きいもの (白つぶれする) や小さいもの (暗くなる) があります。このメニューでアナログ映像信号の大きさを調整することができます。
	エンハンスド , ノーマル	デジタル信号入力時 : 接続するデジタル機器 (DVD プレーヤなど) のデジタル映像信号規格に合わせて設定します。黒つぶれや黒浮きがある場合に切り換えます。
クローズドキャプション	OFF	キャプション (字幕情報) を表示しないときに選択します。
	CC1/CC2	キャプション (字幕情報) を表示するときに選択します。

お知らせ

- TV50(PAL、SECAM) 信号入力時は色合いの調整はできません。
- 色温度は壁スクリーンの設定が OFF 以外のとき調整できません。
- COMPUTER 1、COMPUTER 2 または HDMI が選ばれているとき、色合いははたらきません。
- カラーエンハンサーの切り換え時に、画像が乱れることがあります。
- キャプションは、画面にメニューや音量設定、入力切り換えの情報が表示されている間は表示されません。
- クローズドキャプションは、主に北米の TV 放送に使用されている NTSC 信号に多重された文字情報を表示する機能です。
- デジタル信号入力時、接続機器からの信号が YC_BC_R/YP_BP_R で出力している場合、入力レベルは選択できません。

メニューを使って設定する（つづき）

■ 設置メニュー



設定項目	設定	はたらき
壁スクリーン	OFF、ベージュ↵、ライトブルー↵、ライトグリーン↵、ピンク↵、黒板、ホワイトボード	投写する壁の色に合わせて選択します。 黒板、ホワイトボード以外は色合いを微調整 (1 ～ 5) できます。 (34 ページ参照)
ランプモード	標準	通常はこれを選びます。
	低	ランプの明るさを抑えるモードです。動作音が小さくなり、光源ランプの交換に至るまでの時間が長くなります。
スタンバイモード	標準	標準モードでは、LAN 端子は動作します。MONITOROUT 端子は動作しません。
	低	低選択時は、消費電力は少なくなりますが、LAN と MONITOR OUT 端子は動作しません。
音声入力	AUTO	AUTO を選択した場合は、入力ソースが COMPUTER1 のときは音声 1 を、入力ソースが COMPUTER 2 のときは音声 2 を、入力ソースが VIDEO/S-VIDEO のときは音声 3 を選びます。また、入力ソースが HDMI のときは HDMI を選びます。
	音声 1/ 音声 2/ 音声 3	音声入力を選択します。
	MIX ↵	MIX 選択時は、音声 1 と音声 2 の MIX 信号が選ばれます。 MIX ↵で音声 1 と音声 2 のバランスが変更できます。
オートパワーオン	OFF	通常はこれを選びます。
	ON	電源プラグをコンセントに接続したとき、自動的に電源が入ります。天吊り時などに設定します。
オートパワーオフ	OFF	オートパワーオフは、はたらきません。
	5 分、10 分、15 分、30 分、60 分	映像信号が未入力のとき、設定した時間になると自動的に電源が切れます。
イメージキャプチャー	設定↵	スプラッシュスクリーン（起動画面）を変更するときに選択します。(18 ページ参照)
スプラッシュスクリーン	ON	電源を入れたとき、スプラッシュスクリーン (起動画面) を表示します。
	OFF	スプラッシュスクリーン (起動画面) を表示しません。
バックカラー	BLUE/BLACK/IMAGE	無信号時の背景の色を選択します。
AV ミュートモード	BLACK/IMAGE	AV MUTE ボタンを押したとき、真っ黒な画面を表示するか、スプラッシュスクリーン（起動画面）を表示するか選択します。
反転表示	OFF	床置きで正面から映像を見るときに選びます。通常はこれを選びます。
	左右	床置きでスクリーンの裏側から映像を見るときに選びます。
	上下	天吊りして、スクリーンの裏側から映像を見るときに選びます。
	上下左右	天吊りして、正面から映像を見るときに選びます。
テストパターン	CROSS HATCH ↵	クロスハッチのテストパターンを表示します。
	WHITE ↵	最大輝度の映像を表示します。
	BLACK ↵	最小輝度の映像を表示します。

お知らせ

- ランプモードは、電源を入れたときは「標準」モードで起動します。「低」モードに設定している場合は、約 1 分で「低」モードに切り換わります。
- ランプモードを切り換えたとき、映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- ランプモードは頻繁に切り換えないでください。
- 音声入力は、入力ソースに HDMI を選んだ場合、HDMI の音声になります。音声 1、音声 2、音声 3 および MIX ↵の音声は選択できません。
- テストパターン表示中、いずれかのボタンを押すと、テストパターンは解除されます。

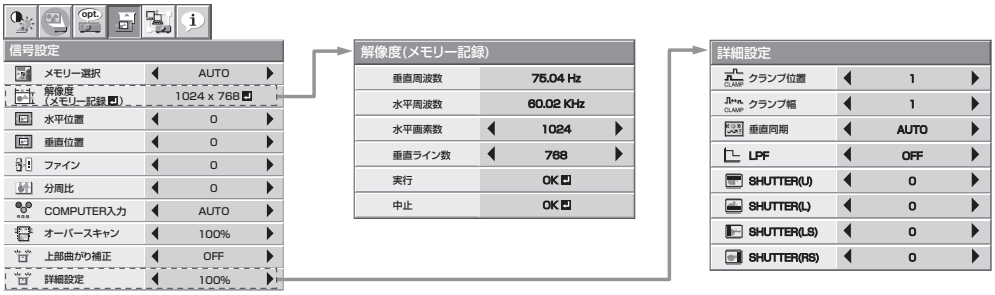
■ オプションメニュー

設定項目	設定	はたらき
画角	AUTO	入力信号に合わせて自動的に最適なアスペクト比が選ばれます。(通常はこれを選びます)
	16:9(FULL)	入力信号にかかわらず、投写映像を 16:9 のフルサイズ (1920×1080 画素) で表示します。
	NATIVE	入力信号をそのままの大きさで表示します。
パスワードロック	映像表示 ↵、キー操作↵、スプラッシュスクリーン↵	パスワードロック機能のモード切り換え、パスワードロック機能の設定、解除に使います。(41 ページ参照)
メニュー位置	画面左上、画面右下	メニューの表示位置を切り換えます。
シネマモード	AUTO	フィルム映像信号を入力したとき、自動的にフィルムモード処理を行います。通常は AUTO に設定します。画面にちらつきが出たり、コマ落ちなどの不自然な動作をしたり、斜め線のガタツキが大きい場合は、フィルムまたはビデオモードのいずれか適する設定に切り替えてください。
	フィルム	強制的にフィルムモードに設定します。
	ビデオ	フィルムモード処理は行いません。
信号判別	AUTO、NTSC、PAL 他	ビデオ信号のカラー方式を選択します。(通常は AUTO に設定します)
セットアップ	AUTO	自動的にセットアップ設定を切り換えます。
	OFF	国内盤の LD や DVD の映像を見るときに選択します。
	3.75%/7.5%	米国盤の LD や DVD の映像を見るときに選択します。
2 画面表示	OK ↵	画面を左右 2 分割し、左の画面にコンピュータ映像、右の画面にビデオ映像を表示するときに使います。(19 ページ参照)
言語選択	12 言語	メニュー画面などの画面上に表示される言語を選びます。
クイックメニュー	OK ↵	ENTER ボタンを押すとクイックメニューが表示されます。
RESET ALL	OK ↵	ENTER ボタンを押すと、メニュー画面の設定をすべて工場出荷時の値に戻します (言語選択、パスワードロックを除く)。

お知らせ

- 信号判別の設定を「AUTO」にしているとき、正常に色がつかないことがあります。そのときは、入力信号に合わせた方式に設定してください。
- RESET ALL には、少し時間がかかることがあります。

■ 信号設定メニュー　※外部信号が入力されていないと調整はできません。



- 設定項目の詳細は 32 ページを参照ください。

メニューを使って設定する（つづき）

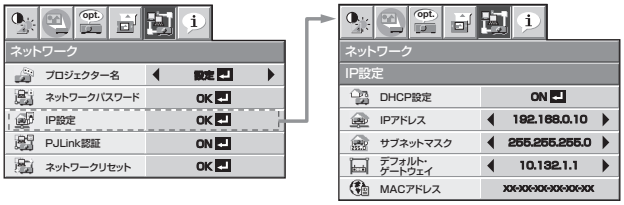
■ 信号設定メニュー（つづき）

設定項目	設定	はたらき
メモリー選択	AUTO、メモリー 1 ↵、メモリー 2 ↵	記録された解像度 (メモリー記録) の設定を選択します。設定が記録されていないときは選べません。通常はコンピュータからの信号に合わせて自動的に適切な信号形式を設定する AUTO が選択されます。ENTER ボタンを押すと記録された設定内容を消去できます。
解像度 (メモリー記録↵)		現在の解像度を表示します。ENTER ボタンを押すと解像度 (メモリー記録) メニューを表示し、その設定内容を変更することができます。変更した設定内容はメモリー 1 またはメモリー 2 に記録することができます。
垂直周波数	−	現在投写中の映像信号の垂直周波数が表示されます。
水平周波数	−	現在投写中の映像信号の水平周波数が表示されます。
水平画素数	640 ～ 1920	現在投写中の映像信号の水平画素数が表示されます。設定内容を変更し、実行を選んで ENTER ボタンを押すと、指定された解像度で映像を自動調整します。調整した結果は、メモリー 1 またはメモリー 2 に記録することができます。
垂直ライン数	350 ～ 1200	現在投写中の映像信号の垂直ライン数が表示されます。設定内容を変更し、実行を選んで ENTER ボタンを押すと、指定した解像度で映像を自動調整します。調整した結果は、メモリー 1 またはメモリー 2 に記録することができます。
実行	OK ↵	ENTER ボタンを押すと自動調整が始まります。調整終了後に、メッセージが表示されメモリー 1 またはメモリー 2 に記録することができます。
中止	OK ↵	現在の解像度の設定変更を中止して、信号設定メニューに戻ります。
水平位置	0-999	映像の表示位置を左右に動かします。
垂直位置	0-999	映像の表示位置を上下に動かします。
ファイン	0-31	映像にちらつきやぼけが出たときに、画面を見ながら調整します。
分周比	0-9999	映像に幅広の縞模様が出たときに、画面を見ながら調整します。
COMPUTER 入力	AUTO	自動的に最適な値に設定します。
	RGB	通常はこちらに合わせます。R,G,B 出力端子を持つハイビジョン機器と接続するときは、こちらに合わせます。
	YC_BC_R/YP_BP_R	Y、C_B、C_R コンポーネントビデオ出力端子を持つ DVD プレーヤまたは Y、P_B、P_R コンポーネントビデオ出力端子を持つハイビジョンデジタルチューナーなどと接続するときに設定します。DVD プレーヤなどで 480p(525p) 信号を入力するときは、こちらに合わせます。
オーバースキャン	100%-90%	投写映像の表示領域を調整します。
上部曲がり補正	OFF	上部曲がりに対する調整を行いません。
	ON ↵	画面に上部曲がりが起こったときに調整します。
詳細設定	OK ↵	ENTER ボタンを押すと詳細設定メニューが表示されます。
クランプ位置	1-255	投写画面が白くつぶれたり黒くつぶれたりするときに調整します。
クランプ幅	1-63	投写画面が黒くつぶれるときに調整します。
垂直同期	AUTO	通常はこちらに合わせます。
	OFF	映像の動きが不自然なときに合わせます。
LPF	ON、OFF	プログレッシブフィルターをはたらかせるかどうかを選択します。通常は OFF を選択します。
SHUTTER(U)	0 ～ 20	画面の上にノイズが出る場合に調整します。
SHUTTER(L)	0 ～ 20	画面の下にノイズが出る場合に調整します。
SHUTTER(LS)	0 ～ 20	画面の左にノイズが出る場合に調整します。
SHUTTER(RS)	0 ～ 20	画面の右にノイズが出る場合に調整します。

LPF（プログレッシブフィルター）について

ご使用になる DVD プレーヤ、ゲーム機、パソコンによっては画面の縦、横方向に薄いスジ状のノイズが現れる場合があります。この場合、LPF を ON にすることによりプログレッシブフィルターがはたらき、これらのスジ状のノイズを軽減することができます。ただし、映像の鮮鋭度は弱くなります。

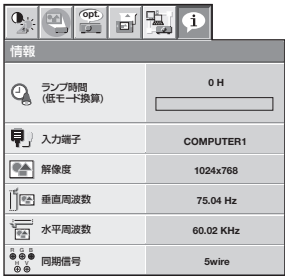
■ ネットワークメニュー



設定項目	設定	はたらき
プロジェクター名	*****	プロジェクター名が表示されます。プロジェクター名を設定していない場合は空欄で表示されます。
	設定↵	プロジェクター名を設定します。英数字または記号で 15 文字以内で入力してください。
ネットワークパスワード	OK ↵	Web 制御、PJLink 認証用のパスワードを設定します。
IP 設定	OK ↵	IP 設定を行います。
DHCP 設定	ON ↵ /OFF ↵	DHCP サーバーによる自動 IP 取得を行うかどうかを選択します。
IP アドレス	***,***,***,***	IP アドレスが表示されます。ただし、工場出荷時は IP アドレスが設定されていませんので表示されません。
	設定↵	IP アドレスを設定します。DHCP 設定が ON のときは変更できません。
サブネットマスク	***,***,***,***	サブネットマスクが表示されます。ただし、工場出荷時はサブネットマスクが設定されていませんので表示されません。
	設定↵	サブネットマスクを設定します。DHCP 設定が ON のときは変更できません。
デフォルト・ゲートウェイ	***,***,***,***	デフォルト・ゲートウェイが表示されます。ただし、工場出荷時はデフォルト・ゲートウェイが設定されていませんので表示されません。
	設定↵	デフォルト・ゲートウェイを設定します。DHCP 設定が ON のときは変更できません。
MAC アドレス	xx-xx-xx-xx-xx-xx	MAC アドレスが表示されます。
PJLink 認証	ON ↵ /OFF ↵	PJLink 認証を行うかどうかを選択します。
ネットワークリセット	OK ↵	ネットワーク設定を初期化します。

■ 情報メニュー

設定項目	内容
ランプ時間（低モード換算）	ランプモードを「低」にした場合の時間で換算したランプ使用時間が表示されます。 ● ランプモードを「標準」にして使用した場合、実際に使用した時間よりも長く表示されます。 ● ランプ使用時間が 10 時間以内の場合、0 Hが表示されます。10 時間を超えると、1時間単位で表示されます。 ● ランプ使用時間が 3750 時間を超えた場合、バーは黄色になります。4750 時間を超えた場合、赤色になります。 （ランプ寿命は 5000 時間です。）
入力端子	現在投写中の入力端子名が表示されます。
解像度	現在投写されている映像信号の解像度が表示されます。
垂直周波数	現在投写されている映像信号の垂直周波数が表示されます。
水平周波数	現在投写されている映像信号の水平周波数が表示されます。
同期信号	現在投写されている映像信号の同期信号形式が表示されます。



映像を調整する

映像の明るさを調整する（コントラスト、ブライト）

メニューを使って映像の明るさに関する調整をします。

1 **クイックメニューまたは画質メニューを表示させる**（メニュー設定のしかたは 25 または 28 ページ参照）

2 **▲、▼ボタンを押して「コントラスト」または「ブライト」を選ぶ**

3 **◀、▶ボタンを押して調整する**

コントラスト ... ▶ボタンを押すごとに、映像が明るくなり、メリハリが出ます。◀ボタンを押すごとに、映像が暗くなり、しっとりとします。

ブライト ..... ▶ボタンを押すごとに、映像が明るくなります。◀ボタンを押すごとに、映像が暗くなります。

独自の白の色合いを設定する（色温度のユーザー設定）

メニューを使って独自の色温度（白の色合い）を設定します。

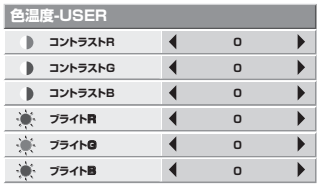
1 **画質メニューを表示させる**（メニュー設定のしかたは 28 ページ参照）

2 **▲、▼ボタンを押して「色温度」を選ぶ**

3 **◀、▶ボタンを押して「USER」を選ぶ**

4 **ENTER ボタンを押す**

- 色温度 -USER メニューが表示されます。



5 **▲、▼ボタンを押して設定したい項目を選ぶ**

6 **◀、▶ボタンを押して設定する**

7 **操作 5 、6 を繰り返して設定する**

8 **MENU ボタンを 3 回押す**

色温度について

同じ白色といっても、いろいろの程度があります。白さの程度を表す方法のひとつに色温度があります。色温度の低い白色は赤みがかった白色となり、色温度の高い白色は青みがかった白色となります。本機では、この色温度の設定をコントラスト B（青）とコントラスト R（赤）の数値を変化させることにより、設定します。

- 色温度を高くするには
  コントラスト B（青）の数値を大きく、コントラスト R（赤）の数値を小さく設定します。
- 色温度を低くするには
  コントラスト B（青）の数値を小さく、コントラスト R（赤）の数値を大きく設定します。

色を調整する（色の濃さ、色合い）

メニューを使って映像の色に関する調整をします。

1 **画質メニューを表示させる**（メニュー設定のしかたは 28 ページ参照）

2 **▲、▼ボタンを押して「色の濃さ」または「色合い」を選ぶ**

3 **◀、▶ボタンを押して調整する**

色の濃さ ..... ▶ボタンを押すごとに、色が濃くなります。◀ボタンを押すごとに、色が薄くなります。

色合い ..... ▶ボタンを押すごとに、肌色が緑がかります。◀ボタンを押すごとに、肌色が紫がかります。

お知らせ

- 「色の濃さ」、「色合い」は、「ビデオ」入力時のみ表示されます。
- 「色合い」は、NTSC、4.43NTSC 時のみはたらきます。

映像をくっきりさせたり、ソフトにしたりする（シャープネス）

メニューを使って映像の鮮鋭度に関する調整をします。

1 **クイックメニューまたは画質メニューを表示させる**（メニュー設定のしかたは 25 または 28 ページ参照）

2 **▲、▼ボタンを押して「シャープネス」を選ぶ**

3 **◀、▶ボタンを押して調整する**

お知らせ

- 「シャープネス」は、「ビデオ」入力時のみ表示されます。

スクリーン（壁色）に合わせた色の調整をする

設置メニューの壁スクリーンの設定を壁の色に合わせた設定にすると、簡易的に壁に投影した映像をより自然な色合いに合わせることができます。ベージュ、ライトブルー、ライトグリーン、ピンクの壁紙や黒板、ホワイトボードに対応しています。黒板以外では、色合いの微調整もできます。

1 **設置メニューを表示させる**（メニュー設定のしかたは 28 ページ参照）

2 **▲、▼ボタンを押して「壁スクリーン」を選ぶ**

3 **◀、▶ボタンを押して投写する壁の色に近い色を選択する**

- スクリーンや白い壁に投写する場合は、「OFF」を選択します。
- 「OFF」または「黒板」、「ホワイトボード」を選択した場合は、色合いの設定はできません。

4 **ENTER ボタンを押す**

5 **ENTER ボタンを押す**

6 **◀、▶ボタンを押して色合いを調整する**

独自の明るさと色合いを設定する (カラーエンハンサーの詳細説明)

メニューを使って独自の明るさと色合いのバランスを設定します。

1 **クイックメニューまたは画質メニューを表示させる** (メニュー設定のしかたは 25 または 28 ページ参照)

2 **▲、▼ボタンを押して「カラーエンハンサー」を選ぶ**

3 **◀、▶ボタンを押して「USER」を選ぶ**

4 **ENTER ボタンを押す**

5 **▲、▼ボタンを押して設定する項目を選ぶ**

ガンマモード

最適なガンマとランプの電力変調の設定をします。明るさが不足がちな色を明るく強調できます。

- ダイナミック ..... 明るい環境でメリハリのきいた映像を映したいときに選びます。明るい色がより明るく強調されます。
- ナチュラル ..... 必要以上のメリハリより色再現性を重視したいときに選びます。必要十分な明るさと鮮やかな色が再現されます。
- ディテール ..... 映画、音楽ライブを見るときなど、比較的輝度を抑えたいときに選びます。

BrilliantColor™

黄色や肌色など、中間色の色を自然な明るさに設定します。▶ボタンを押すごとに明るさが増し、◀ボタンを押すごとに暗くなります。(「0」に設定した場合、効果はありません。)

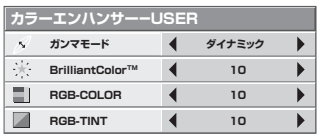
RGB-COLOR

映像の色の濃さを設定できます。▶ボタンを押すごとに、色が濃くなります。◀ボタンを押すごとに、色が薄くなります。

RGB-TINT

映像の色合いを設定できます。▶ボタンを押すごとに、肌色が緑がかります。◀ボタンを押すごとに、肌色が紫がかります。

6 **◀、▶ボタンを押して設定する**

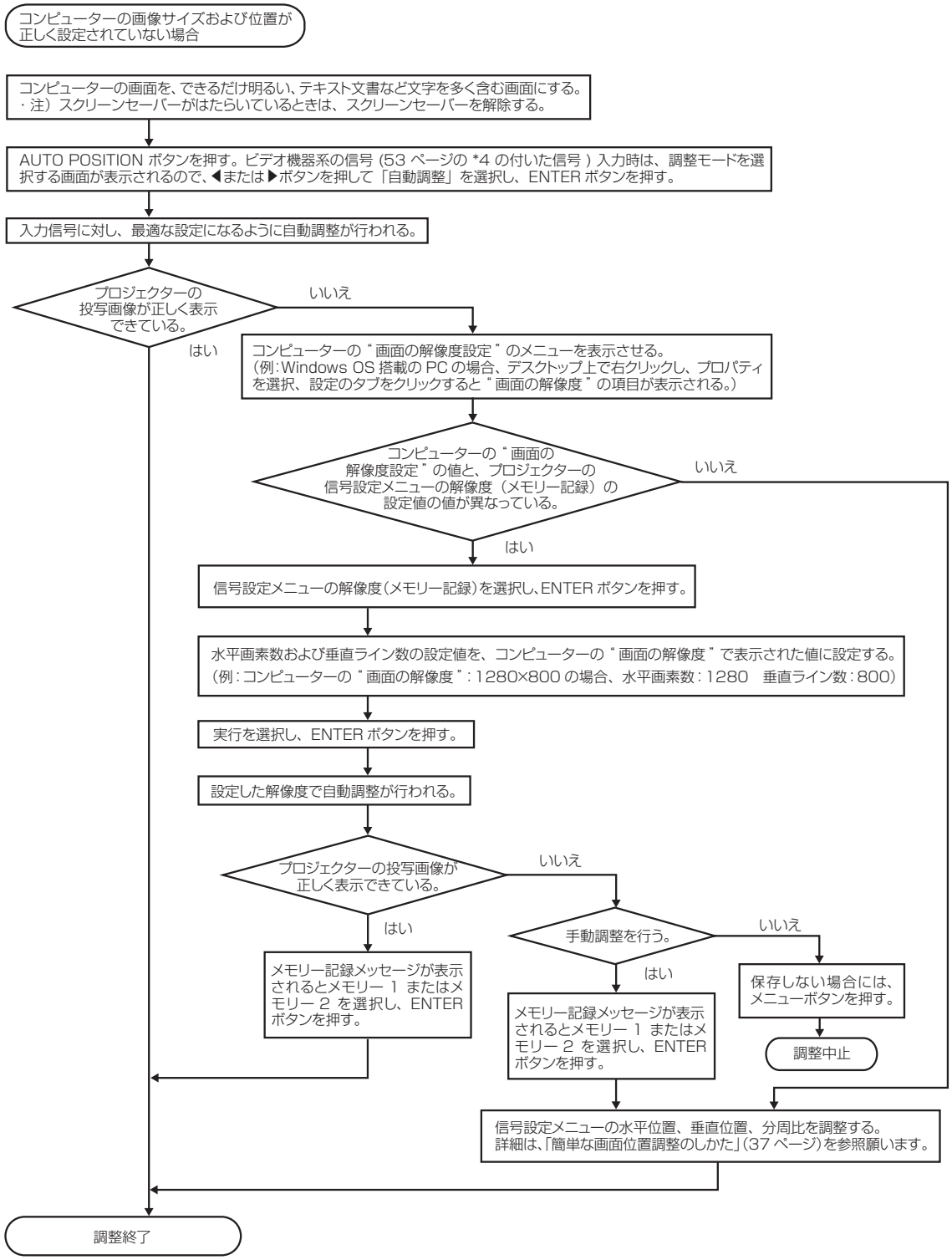


- BrilliantColor ™を「0」に設定すると、白の色調整ができなくなりますが、色をより忠実に再現することができます。
- 「ガンマモード」の切り換え時に、画像が乱れることがあります。

映像を調整する（つづき）

コンピューター映像の調整

本機は、コンピュータからの映像の信号に合わせて自動的に適切な信号形式に設定しますが、コンピュータの種類や表示画像によっては、正しく投写できない場合があります。そのときは以下の図の流れに従い、調整してください。



メニュー画面を使ったコンピューター映像の調整のしかた

次のような症状のときは、以下のように調整してください。

- **投写画面が左右にずれる**
  信号設定メニューの水平位置を調整します。◀ボタンを押すごとに、映像が右にずれます。▶ボタンを押すごとに、映像が左にずれます。
- **投写画面が上下にずれる**
  信号設定メニューの垂直位置を調整します。◀ボタンを押すごとに、映像が下にずれます。▶ボタンを押すごとに、映像が上にずれます。
- **投写画面がちらつく、ぼやける**
  信号設定メニューのファインを調整します。
- **幅広のしま模様が出る**
  信号設定メニューの分周比を調整します。
- **画面が白く（または黒く）つぶれる**
  信号設定メニューの中の詳細設定メニューのクランプ位置またはクランプ幅を調整します。
- **画面の左右にノイズなどが出る**
  信号設定メニューの中の詳細設定メニューの SHUTTER(LS) または SHUTTER(RS) を調整します。
- **画面の上下にノイズなどが出る**
  信号設定メニューの中の詳細設定メニューの SHUTTER(U) または SHUTTER(L) を調整します。
- **画面に上部曲がりが起こる**
  信号設定メニューの上部曲がり補正の設定を変更します。設定を「ON ↵」にして ENTER ボタンを押し、「開始」および「終了」の値を調整して最も上部曲がりを少なくします。
- **映像の動きが不自然**
  信号設定メニューの中の詳細設定メニューの垂直同期を調整します。通常は「AUTO」に設定してください。
  ※信号設定メニューの中の詳細設定メニューの設定は通常、変更しないでください。

簡単な画面位置調整のしかた（AUTO POSITION ボタンで調整できない場合）

水平位置の調整

1 「水平位置」を調整して映像の左端を合わせ、「分周比」を調整して右端を合わせる
2 操作 1 を繰り返し、水平位置の調整を行う

垂直位置の調整

3 「垂直位置」を調整して映像の上端を合わせる

ネットワークを設定する

メニューを使ってプロジェクターのネットワーク設定を行います。

プロジェクター名を設定する

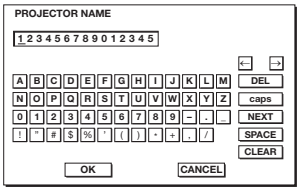
1 ネットワークメニューを表示させる（メニュー設定のしかたは 28 ページ参照）

2 ▲、▼ボタンを押して「プロジェクター名」を選ぶ

3 ◀、▶ボタンを押して「設定」を選ぶ

4 ENTER ボタンを押す

- プロジェクター名入力画面が表示されます。



5 ▲、▼、◀、▶ボタンでキーカーソルを移動させて入力する文字または記号を選び、ENTER ボタンを押す

- プロジェクター名はアルファベット（大・小）、数字、記号で最大 15 文字まで設定できます。
  - ←キー.....入力カーソル位置が 1 文字分左へ移動する
  - →キー.....入力カーソル位置が 1 文字分右へ移動する
  - DEL キー.....入力カーソル位置の文字を 1 文字消去する
  - caps/CAPS キー.....アルファベットの小文字（caps）と大文字（CAPS）を切り換える
  - NEXT/PREV キー ...キーパッド 4 行目の記号を切り換える
  - SPACE キー .....入力カーソル位置に空白を挿入する
  - CLEAR キー.....入力した文字を全て消去する

6 入力した名前を保存して終了するときは「OK」を、保存せずに終了するときは「CANCEL」を選ぶ

- 設定が反映されるまで少し時間がかかることがあります。

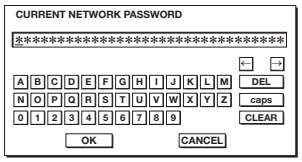
ネットワークパスワードを変更する

1 ネットワークメニューを表示させる（メニュー設定のしかたは 28 ページ参照）

2 ▲、▼ボタンを押して「ネットワークパスワード」を選ぶ

3 ENTER ボタンを押す

- 現パスワード入力画面が表示されます。

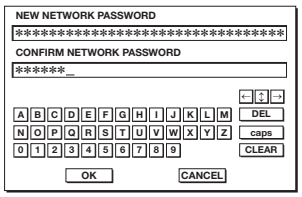


4 ▲、▼、◀、▶ボタンでキーカーソルを移動させて入力する文字または記号を選び、ENTER ボタンを押す

- パスワードはアルファベット（大・小）、数字で最大 32 文字まで設定できます。
  - ←キー.....入力カーソル位置が 1 文字分左へ移動する
  - →キー.....入力カーソル位置が 1 文字分右へ移動する
  - DEL キー.....入力カーソル位置の文字を 1 文字消去する
  - caps/CAPS キー.....アルファベットの小文字（caps）と大文字（CAPS）を切り換える
  - CLEAR キー.....入力した文字を全て消去する
- 工場出荷時のパスワードは「admin」になっています。

5 「OK」を選ぶと、入力したパスワードが正しければ新パスワード入力画面が表示されます

- パスワードを間違えた場合、エラーダイアログが表示され、再度現パスワード入力画面が表示されます。



6 新パスワードと確認用パスワードを入力する

- パスワードはアルファベット（大・小）、数字で最大 32 文字まで設定できます。
  - ←キー.....入力カーソル位置が 1 文字分左へ移動する
  - →キー.....入力カーソル位置が 1 文字分右へ移動する
  - ↕キー.....入力カーソル位置が新パスワード入力欄と確認用パスワード入力欄の間で移動する
  - DEL キー.....入力カーソル位置の文字を 1 文字消去する
  - caps/CAPS キー.....アルファベットの小文字（caps）と大文字（CAPS）を切り換える
  - CLEAR キー.....入力した文字を全て消去する

7 新パスワードと確認用パスワードが一致したらネットワークパスワードの変更が終了します

- 入力内容が一致していない場合、エラーダイアログが表示され、再度新パスワード入力画面が表示されます。
- 設定が反映されるまで少し時間がかかることがあります。

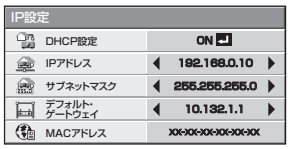
IP を設定する

1 **ネットワークメニューを表示させる**（メニュー設定のしかたは 28 ページ参照）

2 **▲、▼ボタンを押して「IP 設定」を選ぶ**

3 **ENTER ボタンを押す**

- IP 設定の詳細メニューが表示されます。



DHCP の設定・解除をする

1 **IP 設定メニューを表示させる**）

2 **▲、▼ボタンを押して「DHCP 設定」を選ぶ**

3 **ENTER ボタンを押す**

- 設定確認のダイアログが表示されます。

4 **◀、▶ボタンを押して「ON ↵」または「OFF ↵」を選ぶ**

5 **設定したい項目を選んで ENTER ボタンを押す**

- 設定を変更しない場合は、MENU ボタンを押してダイアログを解除してください。
- 設定が反映されるまで少し時間がかかることがあります。
- DHCP 設定を ON にした場合、「IP アドレス」,「サブネットマスク」,「デフォルト・ゲートウェイ」の設定はできません。設定する場合は DHCP 設定を OFF にし、以下の手順で IP 設定を行ってください。

IP アドレスを設定する

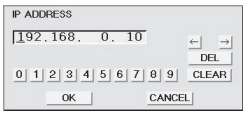
1 **IP 設定メニューを表示させる**

2 **▲、▼ボタンを押して「IP アドレス」を選ぶ**

3 **◀、▶ボタンを押して「設定↵」を選ぶ**

4 **ENTER ボタンを押す**

- IP アドレス入力画面が表示されます。



5 **方向ボタンでキーカーソルを移動させ入力する数字を選び、ENTER ボタンを押す**

- 数値は 0 ～ 255 の範囲で入力してください。ただし、最終オクテットのみ 1 ～ 254 の範囲内で入力してください。
  ←キー.....入力カーソル位置が 1 文字分左へ移動する
  →キー.....入力カーソル位置が 1 文字分右へ移動する
  DEL キー.....入力カーソル位置の文字を 1 文字消去する

6 **「OK」を選ぶと、入力した IP アドレスを設定して終了し、「CANCEL」を選ぶと、設定を保存せずに終了します**

- 設定が反映されるまで少し時間がかかることがあります。

サブネットマスクを設定する

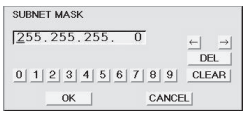
1 **IP 設定メニューを表示させる**

2 **▲、▼ボタンを押して「サブネットマスク」を選ぶ**

3 **◀、▶ボタンを押して「設定↵」を選ぶ**

4 **ENTER ボタンを押す**

- サブネットマスク入力画面が表示されます。



5 **サブネットマスクを入力します**

- 入力方法については <IP アドレスを設定する > を参照してください。

6 **「OK」を選ぶと、入力したサブネットマスクを設定して終了し、「CANCEL」を選ぶと、設定を保存せずに終了します**

- 設定が反映されるまで少し時間がかかることがあります。

ネットワークを設定する（つづき）

デフォルト・ゲートウェイを設定する

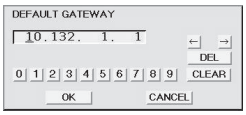
1 IP 設定メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「デフォルト・ゲートウェイ」を選ぶ

3 ◀、▶ボタンを押して「設定」を選ぶ

4 ENTER ボタンを押す

- デフォルト・ゲートウェイ入力画面が表示されます。



5 デフォルト・ゲートウェイを入力します

- 入力方法については <IP アドレスを設定する > を参照してください。

6 「OK」を選ぶと、入力したデフォルト・ゲートウェイを設定して終了し、「CANCEL」を選ぶと、設定を保存せずに終了します

- 設定が反映されるまで少し時間がかかることがあります。

PJLink 認証の設定・解除をする

PJLink プロトコル通信を行うかどうかを設定します。

- PJLink については 42 ページを参照してください。

1 ネットワークメニューを表示させる（メニュー設定のしかたは 28 ページ参照）

2 ▲、▼ボタンを押して「PJLink 認証」を選ぶ

3 ENTER ボタンを押す

- 設定確認のダイアログが表示されます。

4 ◀、▶ボタンを押して「ON」または「OFF」を選ぶ

5 設定したい項目を選び、ENTER ボタンを押す

- 設定を変更しない場合は、MENU ボタンを押してダイアログを解除してください。
- 設定が反映されるまで少し時間がかかることがあります。

ネットワーク設定を初期化する

1 ネットワークメニューを表示させる（メニュー設定のしかたは 28 ページ参照）

2 ▲、▼ボタンを押して「ネットワークリセット」を選ぶ

3 ENTER ボタンを押す

- 確認のダイアログが表示されます。。

4 もう一度 ENTER ボタンを押すと、ネットワーク設定が初期化されます

- 設定が初期化されるまで少し時間がかかることがあります。

ネットワーク機能を使うには

- コンピューターとプロジェクターを LAN 接続する際は、両方の IP アドレスを同じネットワークグループになるように設定してください。
  異なるネットワークグループで接続する場合ルーターをご使用ください。ルーターの設定についてはネットワーク管理者へお問い合わせください。
- IP 設定は正しく行ってください。正しく設定していないと、通信ができない場合があります。くわしくは、ネットワーク管理者へご相談ください。
- プロジェクターのスタンバイモードの設定によっては、LAN 機能が利用できないことがあります。スタンバイモードについては、30 ページを参照してください。

用語説明

詳細については市販の書籍などをご覧ください。

用語	説明
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の略で、ネットワークに接続する機器に IP アドレスを自動的に割り当てるプロトコルのことです。
IP アドレス	ネットワークに接続されたコンピューターを識別するための数字のことです。
サブネットマスク	IP アドレスから、分割したネットワーク（サブネット）のネットワークアドレスに使用するビット数を定義する数字のことです。
デフォルト・ゲートウェイ	サブネットマスクによって分割したネットワーク（サブネット）を越えて通信するためのサーバー（ルーター）のことです。
MAC アドレス	Media Access Control アドレスの略です。MAC アドレスはネットワークアダプターごとの固有の ID 番号です。すべてのネットワークアダプターは 1 つずつ固有の番号が割り当てられており、これをもとにネットワークアダプター間の送受信が行われます。

パスワードを設定する

本機はパスワードロック機能により、お子様による誤操作防止および特定者以外による操作を制限することなどができます。パスワードロック機能には、次の３つのモードがあります。

映像表示
電源を入れたとき、起動画面（スプラッシュ画面）が表示されたままになります。パスワードを入力することにより、通常の画面に切り換わります。

キー操作
本体の電源ボタン以外のボタン操作ができなくなります（リモコンのボタン操作はできます）。お子様による誤操作防止や特定者以外による操作の制限ができます。

スプラッシュスクリーン
メニュー画面のスプラッシュスクリーンおよびイメージキャプチャーの設定ができなくなります。このときスプラッシュスクリーンは自動的に ON に設定されます。

パスワードロックの設定のしかた

1 **オプションメニューを表示させる**（メニュー設定のしかたは 28 ページ参照）

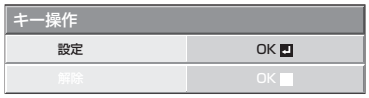
2 **▲、▼ボタンを押してパスワードロックを選択する**

3 **◀、▶ボタンを押してモード（「映像表示」、「キー操作」または「スプラッシュスクリーン」）を切り換える**

- すでにパスワードが設定されているときは、モードは切り換わりません。そのときは、ENTER ボタンを押して、パスワードロック機能を解除してから設定し直してください。

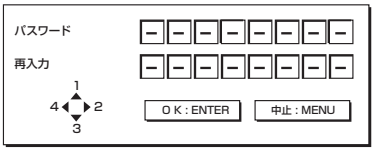
4 **ENTER ボタンを押す**

- パスワードロック画面（設定用）が表示されます。



5 **ENTER ボタンを押す**

- パスワード入力画面が表示されます。



6 **▲、▼、◀または▶ボタンを押して４～８桁のパスワードを入力する**
（▲=1、▶=2、▼=3、◀=4）

7 **ENTER ボタンを押す**

8 **同様に再入力欄にパスワードと同じ数字を設定する**

9 **ENTER ボタンを押す**

- 再入力欄の数字とパスワードが一致しない場合は、エラーメッセージが表示されます。
- パスワード設定を取り消したいときは、MENU ボタンを押します。

パスワードロックの解除のしかた

1 **オプションメニューを表示させる**（メニュー設定のしかたは 28 ページ参照）

2 **▲、▼ボタンを押してパスワードロックを選択する**

3 **ENTER ボタンを押す**

- パスワードロック画面（解除用）が表示されます。

4 **ENTER ボタンを押す**

- パスワード入力画面が表示されます。

5 **▲、▼、◀または▶ボタンを押して４～８桁のパスワードを入力する**
（▲=1、▶=2、▼=3、◀=4）

6 **ENTER ボタンを押す**

- 誤ったパスワードを入力した場合は、エラーメッセージが表示されます。
- パスワード解除を取り消したいときは、MENU ボタンを押します。

パスワードを忘れたときは

パスワード入力画面を表示した状態で本体操作部の MENU ボタンおよび ENTER ボタンを同時に押して、パスワードを解除してください。

コンピューターによる監視と制御

本機はコンピューターによるプロジェクターの監視および制御を LAN 回線経由で行うことができます。

- 監視および制御には、付属品の CD-ROM 内のソフト「ProjectorView Global+（対応 OS: Windows® XP、Windows® Vista)」をインストールする必要があります。詳しくは、CD-ROM 内の「LAN 制御 UTILITY 操作説明書」をご覧ください。

主な機能

- ProjectorView Global+
  プロジェクター一括制御・状態監視アプリケーション
  - 単体／複数のプロジェクターの一括操作
  - 曜日ごとの電源 ON/OFF スケジュール機能
  - プロジェクターの各種状態の取得と盗難検知
  - プロジェクターの IP 設定
  - Web ブラウザーによる状態制御・監視ツール ProjectorView の起動
- ProjectorView
  Web ブラウザーによりプロジェクターの監視と制御を行う
- PJLink®
  プロジェクター制御用の標準プロトコルで、異なるメーカー間、機種間であっても同一のアプリケーションを用いてプロジェクターの監視・制御を行う

PJLink® について

- PJLink® 機能を使用するには、別途、PJLink® アプリケーションソフトが必要です。
- PJLink® の仕様に関しては、社団法人　ビジネス機械・情報システム産業協会（JBMIA）の Web サイトを参照してください。
  URL　http://pjlink.jbmia.or.jp/
- 本プロジェクターは、JBMIA PJLink® クラス 1 の規格に適合しています。PJLink® クラス 1 で定義されているすべてのコマンドに対応しており、PJLink® 標準仕様バージョン 1.0 で適合を確認しています。

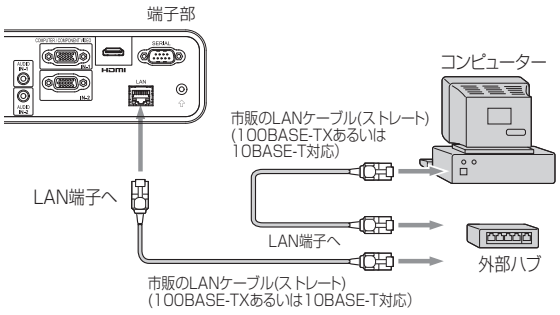
PJLink® 対応コマンド

PJLink® プロトコルで本機で制御する際のコマンドは下表のとおりです。

コマンド	制御内容	備考　（パラメーター）
POWR	電源制御	0 =スタンバイ 1 =電源「入」
POWR ?	電源状態問い合わせ	0 =スタンバイ 1 =電源「入」 2 =クーリング中 3 =ウォームアップ中
INPT	入力切り換え	11 = COMPUTER1　　12 = COMPUTER2 21 = VIDEO　　22 = S-VIDEO 31 = HDMI
INPT ?	入力切り換え問い合わせ	
AVMT	ミュート制御	30 =映像と音声のミュート解除 31 =映像と音声のミュート
AVMT ?	ミュート状態問い合わせ	
ERST ?	エラー状態問い合わせ	1 バイト目：ファンエラーを意味し、0 または 2 2 バイト目：ランプエラーを意味し、0 ～ 2 のいずれか 3 バイト目：温度エラーを意味し、0 または 2 4 バイト目：カバーオープンエラーを意味し、0 または 2 5 バイト目：0 固定 6 バイト目：その他のエラーを意味し、0 または 2 0 ～ 2 の各意味は以下のとおり 0 =エラーを検知していない　1 =警告　2 =エラー
LAMP ?	ランプ状態問い合わせ	1 つ目の数字（1 ～ 5 桁）：ランプ積算時間（ランプモードを「低」にした場合の時間で換算したランプ 1 の使用時間が表示されます。） 2 つ目の数字：0 =ランプ消灯　1 =ランプ点灯
INST ?	入力切り換え一覧問い合わせ	下記の値を応答します “11 12 21 22 31”
NAME ?	プロジェクター名問い合わせ	ネットワークメニューまたは ProjectorView の Setup で設定したプロジェクター名を応答します
INF1 ?	メーカー名問い合わせ	“MITSUBISHI” と応答します
INF2 ?	機種名問い合わせ	“FD730” と応答します
INFO ?	その他情報問い合わせ	その他情報はありません。応答のパラメータは無しです
CLSS ?	クラス情報問い合わせ	“1” と応答します

- 本プロジェクターは JBMIA PJLink® クラス 1 の規格に適合しています。PJLink® クラス 1 で定義されているすべてのコマンドに対応しており、PJLink® 標準仕様バージョン 1.0 で適合を確認しています。

接続例



- 外部ハブやルーターを用いる場合、LAN ケーブルは、ストレート結線でカテゴリー 5 対応のものを使用してください。(外部ハブやルーターなどの機器によっては、クロス結線の LAN ケーブルを使用できるものがあります。詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。)
- 静電気を帯びた手で LAN 端子にふれると静電気の放電により、故障の原因となることがあります。LAN 端子および LAN ケーブルの金属部分には触れないようにしてください。

プロジェクターの設置メニューまたはパワーセーブモードメニューのスタンバイモードの設定が「低」になっていると、LAN 接続が無効になります。LAN 接続を有効にするには、スタンバイモードの設定を「標準」にしてください。

付属の CD-ROM について

付属の CD-ROM には、アプリケーションソフト「Projector View Global+」、「LAN 制御 UTILITY 取扱説明書」および Acrobat® Reader® が収録されています。

LAN 制御 UTILITY 取扱説明書をご覧になるには ――

以下の手順に従ってご覧ください。

1. 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れる
2. CD-ROM “PROJECTOR” を開く
3. “Manual.pdf” のアイコンをダブルクリックする

お知らせ

- LAN 制御 UTILITY 取扱説明書をご覧になるためには、コンピューターに Adobe® Reader® または Acrobat® Reader® がインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、以下の手順に従ってインストールしてください。

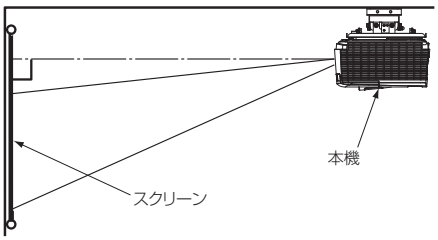
Acrobat® Reader® をインストールするには ―

1. 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れる
2. CD-ROM “PROJECTOR” を開く
3. “ACROBAT_READER” フォルダーを開く
4. インストール用ソフトのアイコンをダブルクリックする
5. 画面の指示に従ってインストールする

設置工事を依頼するときは・お掃除のしかた

天吊りして正面から映像を見る場合

天吊りにする場合は、別売りの専用天吊り金具を使用してください。また、設置工事は必ず教育を受けた専門の工事業者に依頼してください。
くわしくは、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。



お知らせ

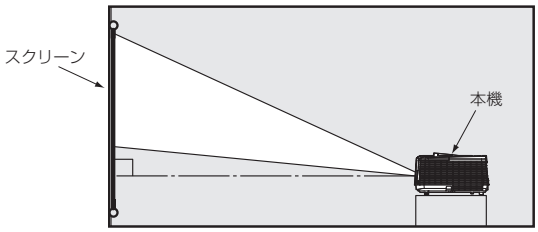
- 当社製以外の天吊り金具ならびに天吊り金具設置環境の不具合による製品の損傷等については、保証期間中であっても当社は責任を負いかねますのでご注意ください。
- 天吊りの場合、設置メニューの反転表示の設定を「上下左右」にしてください。くわしくは、30 ページをご覧ください。
- ブレーカーなどを設置するよう、工事業者に依頼してください。ご使用にならないときは、必ずブレーカーなどで主電源を落としておいてください。
- 天吊りの場合、床置き時に比べて画面の明るさが暗くなることがありますが、故障ではありません。
- 排気口にエアコンなどの風が直接当たるような場所に設置しないでください。故障の原因になることがあります。
- 本体の排気口から温風が出ますので、火災報知器の近くに設置しないでください。

⚠注意

本機を据付金具で天井などに取り付ける場合、地震等での落下を防止するため、本機底面の据付金具取り付け用ネジ以外に金属製のバーやワイヤーなどで据付金具と本機を固定することをおすすめします。固定に用いるバーやワイヤー、ネジなどの部品は、55kgf 以上の荷重に耐える強度のものをご使用ください。金属製のワイヤーを用いる場合、一方は本機背面端子部の⇨マーク付きネジ穴を使用して固定し、他方を据付金具と固定してください。(⇨マーク付き以外のネジ穴は使用しないでください。) この場合、ネジは本機と5mm 以上嵌合していることを確認してください。ネジ長さは 20mm 以下のものをご使用ください。また、漏電などで据付金具に電流が流れていないことを確認してください。

半透過性のスクリーンに投写し、裏側から映像を見る場合

設置工事は必ず教育を受けた専門の工事業者に依頼してください。くわしくは、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。



お知らせ

- 裏側から映像を見る場合、設置メニューの反転表示の設定を「左右」にしてください。くわしくは 30 ページをご覧ください。

お掃除のしかた

お手入れをする前には必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
本体やレンズを掃除する場合、可燃性の溶剤（ベンジン、シンナーなど）やスプレーを使用しないでください。ランプ点灯の際、可燃成分に引火して火災や故障の原因になることがあります。

本体をきれいにする

柔らかい布で軽く汚れを拭き取る

- 汚れがひどいときは水にうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼって拭いて、乾いた布で仕上げてください。
- 殺虫剤をかけたり、ベンジンやシンナーなどで拭いたり、ゴムやビニール製品を長時間接触させると、変質したり、塗料がはげる原因となります。

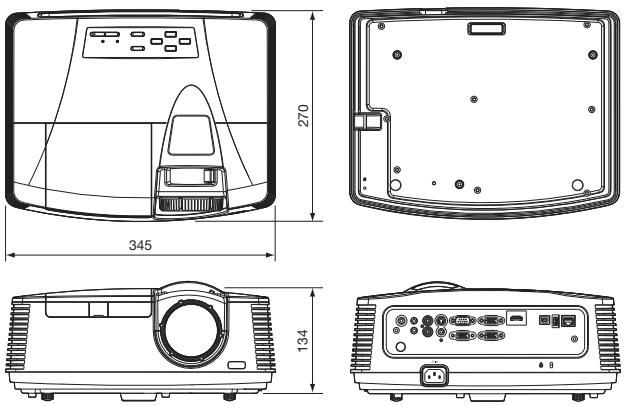
レンズをきれいにする

市販のレンズ手入れ用品（ブローワーブラシなど）でほこりや汚れを取る

- レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

寸法図（参考）

単位は mm



光源ランプを交換する

本機には、DMD の映像を投写するために光源ランプが内蔵されています。本光源ランプは消耗部品であり、使用中に切れたり、輝度が低下する場合があります。このような場合、早めに新しい光源ランプと交換してください。
光源ランプは、必ず別売りの専用光源ランプをご使用ください。光源ランプのご購入は、お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。

LVP-FD730 用光源ランプ
形名：VLT-XD700LP

⚠警告

- 光源ランプを交換する前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグをコンセントから抜かずに交換を行うと感電の原因となることがあります。
- 光源ランプの固定ネジを本機内部に落とさないようにしてください。また、本機内部に金属片や燃えやすいものなどを入れないでください。内部に異物が入ったまま使うと感電や火災の原因となります。入ったものがとれないときは、異物の回収を三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。
- 光源ランプは、素手で触ったり、衝撃を与えたりしないでください。また、正確に取り付けてください。正しく取り扱わないと、破裂する恐れがあります。
- 光源ランプは確実に取り付けてください。取り付けが不十分な場合、光源ランプは点灯しません。また、火災の原因にもなります。
- 取り出した光源ランプは決して振ったり顔の上に持っていかないでください。ガラス片が飛び散ったり落下して目に入る等のけがのおそれがあります。
- 使用した直後、ランプカバーは高温になっていますので光源ランプの交換はしないでください。やけどなどの原因となります。電源ボタンで電源を切り、光源ランプ消灯後、冷却のための吸・排気ファンが止まるまで約 90 秒間お待ちください。そして電源プラグをコンセントから抜き 1 時間以上たって充分に冷えてから交換をはじめてください。
- 高圧水銀ランプが破裂した場合、本体内部にガラス片が散乱している可能性があります。清掃やランプ交換をお客様ご自身でなされる場合、光源ランプの取っ手を持って行ってください。ガラス片でけがの恐れがあります。三菱電機テクニカルサポートセンターに光源ランプの交換と内部の点検を依頼することをお勧めします。
- 天吊り状態でランプ交換をする場合は、ガラス片が飛び散るおそれがありますので、本機または別売りの専用光源ランプに付属のランプ交換用アタッチメントを必ずご使用ください。
- ランプ交換を天吊り状態の高い位置で行う場合は、三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。

⚠注意

本機は光源ランプの使用時間が 3750 時間※1 を超えると STATUS インジケーターが点滅し、パワーオンするたびに画面上に 1 分間メッセージが表示されます。4750 時間※1 を超えると以後 25 時間※1 おきに画面上に 1 分間ランプ交換メッセージ（「LAMP REPLACEMENT」）が表示されます。また、光源ランプの使用時間が 5000 時間※1※2 を超えると自動的に電源が切れ、光源ランプを交換して、使用時間をリセットするまで使用することができなくなります。

- 光源ランプは、交換以外の目的では取り出さないでください。故障の原因となることがあります。
- 本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプが使われています。高圧水銀ランプは、衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりする特性があります。また、高圧水銀ランプの破裂や不点灯に至るまでの時間は、高圧水銀ランプの個体差や使用条件によって大きな差があり、使用開始後すぐに破裂することがあります。
- 交換時期を超えてお使いになると破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換の指示が出た場合、光源ランプが正常に点灯している状態でも速やかに新しい光源ランプと交換してください。
- 高圧水銀ランプが破裂したとき、ランプボックス部の中や外にガラスの破片が飛び散ったり、光源ランプ内部のガスが本体の排気口から出たりすることがあります（白いガス）。高圧水銀ランプ内部のガスには水銀が含まれています。吸い込んだり、目に入ったり、口に入ったりしないようご注意ください。万一、吸い込んだり、目に入ったり、口に入った場合には、速やかに医師にご相談ください。
- 使用済みのランプは、自治体で定められた条例、もしくは規則に従って廃棄してください。
- 光源ランプは専用の VLT-XD700LP をご使用ください。他のランプを使用されると故障の原因となることがあります。

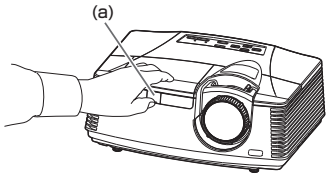
※1：ランプモードを「低」にした場合の時間（「標準」にした場合の時間は短くなります）。
※2：ランプモードを「低」にした場合の時間（「標準」にした場合の時間は 3000 時間）。

ランプ交換のしかた

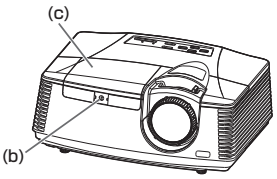
A）床置きの場合

本体が動かないように安定させてから作業してください。

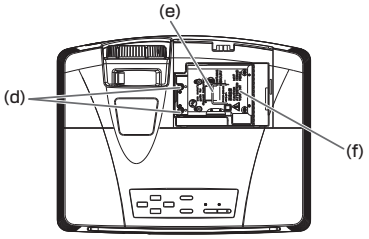
1 ランプカバー固定ネジの目隠しカバー（a）を指の爪を引っ掛けてはずす、または、指で外しにくい場合はマイナスドライバーのような先の細いものではずす



2 ネジ（b）を外し、ランプカバー（c）をスライドしてはずす



3 ランプユニット固定ネジ（d）2 本をゆるめ、ランプユニットの取手（e）を持ってランプユニット（f）を取り出す



（注意）

- ランプを交換する場合、固定ネジ（d）2 本以外はゆるめないでください。故障の原因となります。

光源ランプを交換する（つづき）

- ランプユニットを本体から取り外す際はゆっくりと行ってください。光源ランプが破裂している場合、急に抜き出すとガラス片が飛び散るおそれがあります。
- 取り外したランプユニットに水などをかけたり、お子様の手の届くところや燃えやすい物の近くに置かないでください。やけどやけがの原因となります。

4 新しいランプユニットを挿入し、固定ネジ２本でしっかり固定する

5 ランプカバーをネジ（b）で元のように取り付け、目隠しカバー（a）を取り付ける

（注意）
- ランプカバーの取り付けが不完全な場合、POWER インジケーターが赤と緑で点滅し、電源が入りません。

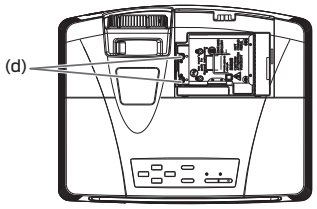
B）天吊りの場合

天吊りしているプロジェクターからランプユニットを取り外すときは、ガラスの破片などから身を守るため、本機または別売の専用光源ランプに付属のランプ交換用アタッチメントを必ずご使用ください。
- ランプ交換を天吊り状態の高い位置で行う場合は、三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。

1 「A）床置きの場合」の手順 1 と 2 を参照し、ランプカバーをはずす

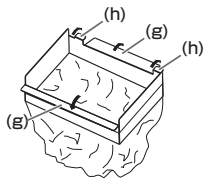
（注意）
- 天吊り設置のプロジェクターのランプを交換する場合、ランプカバーの内側にガラスの破片があることがありますので、ランプカバーを取り外すときは十分注意してください。

2 ランプユニット固定ネジ（d）２本をゆるめる

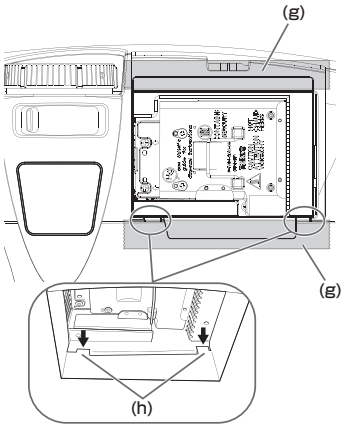


（注意）
- ランプを交換する場合、固定ネジ（d）２本以外はゆるめないでください。故障の原因となります。

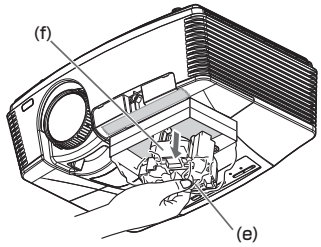
3 付属のランプ交換用アタッチメントを、テープ貼り付け部２箇所（g）と切り欠き部２箇所（h）を図のように折り曲げ、組み立てる



4 ランプ交換用アタッチメントの切り欠き部２箇所（h）をプロジェクターのスリットに挿入し、テープ貼り付け部２箇所（g）をランプ交換用アタッチメントに同梱のテープで貼り付け、固定する



5 袋の上からランプユニットの取手（e）を持ってランプユニット（f）を取り外す



6 ランプ交換用アタッチメントを固定しているテープをはがし、ランプユニットが袋に入った状態でランプ交換用アタッチメントごとはずす

（注意）
- ランプユニットを本体から取り外す際はゆっくりと行ってください。光源ランプが破裂している場合、急に抜き出すとガラス片が飛び散るおそれがあります。
- 取り外したランプユニットに水などをかけたり、お子様の手の届くところや燃えやすい物の近くに置かないでください。やけどやけがの原因となります。

7 新しいランプユニットを挿入し、固定ネジ２本でしっかり固定する

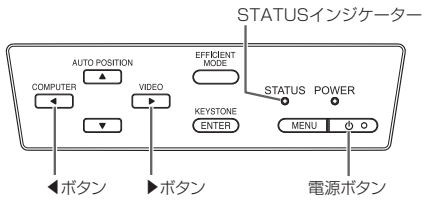
8 ランプカバーをネジ（b）で元のように取り付け、目隠しカバー（a）を取り付ける

（注意）
- ランプカバーの取り付けが不完全な場合、POWER インジケーターが赤と緑で点滅し、電源が入りません。

ランプ使用時間をリセットする

1 電源プラグをコンセントに接続する

2 本体操作部の◀、▶ボタン、および電源ボタン（⏻）を同時に押す



お知らせ

- 3つのボタンが同時に押されない場合、リセットされないことがあります。
- STATUSインジケーターが赤色に2回点滅し、リセットされたことを確認してください。
- ランプ使用時間がランプ寿命を超えていた場合、ランプを交換しても使用時間をリセットするまでは光源ランプを点灯させることはできません。
- ランプ交換をしていないときは、使用時間をリセットしないでください。

※ ランプ寿命時間については45ページ参照。

故障かなと思ったら

修理を依頼される前に次のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、三菱電機テクニカルサポートセンターにご連絡ください。

映像が映らない

<table>
<tr><th>現象</th><th>確認／処置</th></tr>
<tr><td>電源が入らない</td><td>● インジケーターの光りかたを確認する。
<table>
<tr><th>POWER</th><th>STATUS</th><th>処置</th></tr>
<tr><td>○
消灯</td><td>○
消灯</td><td>• 電源コードを本機に接続する。
• 電源プラグをコンセントに接続する。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">☼
赤点灯</td><td>○
消灯</td><td>• 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除き、以下の操作を行ってください。
1. 電源プラグをコンセントから抜く。
2. 本体が冷めているのを確認する。
3. 電源プラグをコンセントに接続する。
4. 電源ボタンを押す。</td></tr>
<tr><td>○ ⇄ ☼
オレンジ点滅</td><td>• 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除く。
• 暖房の吹き出しが排気口にかからないようにする。</td></tr>
<tr><td>○ ⇄ ☼
緑点滅</td><td>• STATUS インジケーターの緑点滅が消えてから、電源ボタンを押す。
● ファンの動作中に電源プラグをコンセントから抜くと、次に電源プラグをコンセントに接続したとき、約 1 分間点灯できなくなる場合があります。
● 光源ランプを消灯した後、約 1 分間は再点灯できません。
• 数回電源ボタンを押す。</td></tr>
<tr><td>☼
赤点灯</td><td>• 光源ランプを交換する。（光源ランプの寿命に達しています。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">☼ ⇄ ☼
赤 / 緑点滅</td><td>○
消灯</td><td>• ランプカバーを取り付ける。</td></tr>
<tr><td>☼
点灯
または
○ ⇄ ☼
点滅</td><td>• 電源プラグをコンセントから抜き、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>映像が映らない</td><td>● AV MUTE ボタンを押して AV ミュートを解除する。
● ランプ点灯に 1 分程度かかる場合があります。
● まれにランプ点灯に失敗することがあります。数分たってから再度点灯させてください。
● 電源プラグをコンセントに接続すると、ファンが回転し、電源ボタンが動作しないときがあります。これは前回の使用時に冷却が不完全な状態で終了されたためです。電源ボタンを押して、再度点灯させてください。
● 吸気口が汚れていないか確認する。
● ランプカバーが閉まっているか確認する。（45、46 ページ参照）
● 外部機器と接続しているケーブルが断線していないか確認する。
● 延長ケーブルを使用している場合は、付属のケーブルと差し替えて正常に映像が表示されていることをご確認ください。正常に映像が表示される場合は、延長ケーブルと RGB 信号増幅器をあわせてご使用ください。
● レンズキャップをはずす。</td></tr>
<tr><td>電源が切れる</td><td>● 吸気口、排気口がふさがれているときになることがあります。
（このとき STATUS インジケーターはオレンジ点滅しています。）
→吸気口、排気口をふさいでいる物を取り除いてから以下の操作を行う。
1. 吸・排気ファンが止まるまで待つ。（STATUS インジケーターが消灯するまで待つ。）
2. 電源プラグをコンセントから抜く。
3. 約 10 分ほど待つ。
4. 電源プラグをコンセントに接続する。
5. 電源ボタンを押す。
● STATUS インジケーターが赤く点灯しているときは、ランプ交換の表示です。光源ランプを交換してください。
● オートパワーオフが設定されていませんか。
● ランプが劣化した場合、点灯後しばらくしてから消灯することがあります。</td></tr>
<tr><td>パスワード入力画面が表示される</td><td>● オプションメニューのパスワードロック機能で「映像表示」が設定されています。
→パスワードを入力する、またはプロジェクターの管理者に問い合わせる。</td></tr>
</table>

映像が映らない（つづき）

現象	確認／処置
「信号がありません」が表示される	● 接続した機器の電源を入れる。または接続した機器が故障していないか確認する。 ● 外部機器の信号が出力されているか確認する。（特にノートタイプのコンピューターの場合） ● 外部機器と接続しているケーブルが断線していないか確認する。 ● 外部機器と接続している端子が正しい端子に接続されているか確認する。 ● 接続した機器の入力が正しく選ばれているか確認する。 ● RGB 接続時に延長ケーブルを使用している場合は、付属のケーブルと差し替えて正常に映像が表示されていることをご確認ください。正常に映像が表示される場合は、延長ケーブルと RGB 信号増幅器をあわせてご使用ください。

映像がおかしい

現象	確認／処置
映像がゆれる 画面位置がおかしい	● 外部機器と接続しているケーブルが断線しかかっていないか確認する。 ● 外部機器と接続ケーブルのプラグを接続端子の奥までしっかりと接続する。 ● AUTO POSITION ボタンを押す。 ● コンピューターの種類によってはまれに規格外の信号が出力される場合があるので、信号設定メニューで調整する。（32 ページ参照）
映像がひずむ	● 本機と投写面が直角になるように調整する。（16 ページ参照）
映像が暗い	● クイックメニューまたは画質メニューのブライトの調整をする。（34 ページ参照） ● レンズキャップをはずす。 ● ランプを交換する。（45 ページ参照）
映像がぼやける	● フォーカスを合わせる。（13、23 ページ参照） ● レンズをきれいに拭く。 ● レンズキャップをはずす。 ● リモコンの◀または▶ボタンを押してちらつきをなくす。 ● 信号設定メニューのファインと分周比の調整をする。（32 ページ参照） ● クイックメニューまたは画質メニューのコントラストおよびブライトの調整をする。（34 ページ参照） ● 本機と投写面が直角になるように調整する。（16 ページ参照）
画面が焼き付く （残像がある）	● 均一な明るい画面を表示し続けることにより緩和されます。（ゲーム画面などの静止画を長時間投写し続けると、画面の痕跡が残る「焼き付け現象」が発生する場合があります。）
映像に光る点が見える 映像に黒い点が見える	● DLP® プロジェクター特有の現象です。故障ではありません。（一部、常時点灯または常時不点灯の画素が存在する場合がありますが、故障ではありません。99.99% 以上は有効な画素数です。）
映像に細かい縞模様が見える	● スクリーンとの干渉によるもので、故障ではありません。スクリーンを交換するか本機のフォーカスを少しずらしてみてください。 ● ご使用になる DVD プレーヤー、ゲーム機、パソコンによっては画面の縦、横方向に薄いスジ状のノイズが現れる場合があります。この場合、LPF を「オン」に設定することによりプログレッシブフィルターがはたらき、これらのスジ状のノイズを軽減することができます。
映像（および音声）が乱れる	● 外部機器との接続ケーブルのプラグを接続端子の奥までしっかりと接続する。 ● 妨害電波を発信している機器から遠ざける。 ● 入力信号によっては台形補正を行うと画像が正常に表示されない場合がありますが、故障ではありません。この場合は、台形補正量が少なくなるように再調整してご使用ください。
色合いがおかしい	● COMPUTER 入力時以外（たとえば HDMI 入力時）でも、外部機器の RGB/YCbCr 出力設定とプロジェクターの信号設定メニューの COMPUTER 入力の設定が合っていないと、画面全体が赤くなったり、緑っぽくなったりします。 →信号設定メニューの COMPUTER 入力の設定が正しく設定されているか確認する。（32 ページ参照） ● 外部機器と接続しているケーブルが断線していないか確認する。
色合いが異なる	● 本機を 2 台以上投写し、比較した場合、色合いが異なることがありますが、故障ではありません。 ● テレビやパソコンのモニターなどと比較した場合、色再現範囲の違いなどにより色合いが異なることがありますが、故障ではありません。
コンピューターの動画部分だけが表示できない	● コンピューターの問題です。コンピューターメーカーにお問い合わせください。
映像がにじむ	● コンピューターの出力解像度をプロジェクターの解像度に合わせる。（53 ページ参照） コンピューターの出力解像度の変更については、コンピューターメーカーにお問い合わせください。 ● 台形補正を使用すると、映像によっては画像や文字がにじんで見えることがあります。 このような場合、台形補正を使用せずにお使いください。
映像がちらつく	● 電源ボタンまたはリモコンの ON ボタンを押したあと、またはランプモードが切り換わったあと、ランプが安定して点灯するまで映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。 ● 入力切り換え、AUTO POSITION 調整、カラーエンハンサーの切り換え時等に一時的に画像がちらつくことがありますが、故障ではありません。

故障かなと思ったら（つづき）

その他

現象	確認／処置
排気口から温風が出る	● 本機内部を冷却して出てくる温風です。熱く感じられることがありますが、故障ではありません。
外部音声出力が出ない または小さい	● 音量設定が小さくなっていないか確認する。 ● 音声入力の設定を確認する。 ● 外部機器が HDMI ケーブルで接続されているときは、外部機器の音声出力を PCM 出力に設定してください。 ● アンプを内蔵していないマイクを接続した場合、入力信号が小さいため外部音声出力が小さくなります。 →アンプ内蔵のマイクを使う。または、外付けのマイクアンプを使う。
メニュー設定ができない	● ノイズなどの影響で、本機内部のマイコンが誤動作していることがあります。 →一度電源プラグをコンセントから抜き、10 分以上たってからもう一度電源プラグをコンセントに接続する。
画面上に「温度異常！！」が表示（点滅）される	● 周辺温度が高くなると表示されます。高温状態が続くと、光源ランプが消えます。 →周辺温度が高くなる原因を取り除く。 ● 吸気口、排気口をふさいでいると表示されることがあります。その状態を続けると光源ランプが消えます。 →吸気口、排気口をふさいでいるものを取り除く。
⃠マークが表示される	● 動作しない操作を行ったときに表示されます。故障ではありません。
リモコンが効かない、 効きにくい	● 電池が消耗していないか確認する。（2 ページ参照） ● リモコン受光部に直射日光や蛍光灯などの光が直接当たっていないか確認する。（10 ページ参照） ● リモコンの操作範囲から外れていませんか。（10 ページ参照）
本体操作パネルのボタン（電源ボタンを除く）がはたらかない	● オプションメニューのパスワードロック機能で「キー操作」が設定されています。 →設定を解除する。
異音がする	● カラーホイールが高速回転しているため、まれに金属音がすることがありますが、故障ではありません。

ランプ交換のあとで以下の症状が出たときは、まず、次のことをお調べください。

現象	確認／処置
電源が入らない	● ランプカバーをきちんと取り付ける。
STATUS インジケーターが点滅する	● ランプ使用時間をリセットする。（47 ページ参照）

索引

あ
アフターサービス……55
色合い……29, 34
色温度……26, 29, 34
色の濃さ……34
オートパワーオフ……30
オートパワーオン……30
オプションメニュー……31

か
画角……24, 26, 31
画質メニュー……29
カラーエンハンサー……26, 29, 35
乾電池を入れる……2
ガンマ補正……35
クイックメニュー……25
クランプ位置……37
クランプ幅……37
コントラスト……26, 29, 34
コンピューターとの接続……11

さ
シャープネス……26, 29, 34
仕様……52
上部曲がり補正……32, 37
情報メニュー……26, 33
信号設定メニュー……31, 32
スタンバイモード……30
接続……11
　DVD プレーヤー……20
　HDMI 出力端子付きビデオ機器……21
　コンピューター……11
　ハイビジョンデジタルチューナー……20
　ビデオ機器……20
接続できる信号の種類……53
設置メニュー……30

た
台形補正……16
ダイレクトパワーオフ……24
テストパターン……30
投写角度の調整……16
投写距離……14

な
ネットワークメニュー……33

は
パスワードロック……31, 41
パワーセーブモード……15
反転表示……44
ビデオ機器との接続……20
ピントの調整……13, 22
付属品……2
ブライト……26, 29, 34
分周比……37
別売品……52

ま
メニュー位置……31
メニューの設定のしかた……25, 28

ら
ランプカバー……8, 45
ランプ交換……45
ランプモード……26, 30, 45
リモコン受光部……10
レンズシフト……13, 16, 23

D
DVD プレーヤーとの接続……20

H
HDMI 出力端子付きビデオ機器との接続……21

L
LPF……32

P
POWER インジケーター……8, 13, 22, 48, 裏表紙

S
STATUS インジケーター……8, 15, 23, 45, 47, 48, 裏表紙

端子について

COMPUTER/COMPONENT VIDEO IN-1、IN-2 端子（ミニ D-Sub 15 ピン）

PIN No.	仕 様	PIN No.	仕 様
1	R(RED)/P_R/C_R	9	DDC 5V
2	G(GREEN)/Y	10	GND
3	B(BLUE)/P_B/C_B	11	GND
4	GND	12	DDC Data
5	GND	13	HD/CS
6	GND	14	VD
7	GND	15	DDC Clock
8	GND		

MONITOR OUT 端子（ミニ D-Sub 15 ピン）

PIN No.	仕 様	PIN No.	仕 様
1	R(RED)/P_R/C_R	9	–
2	G(GREEN)/Y	10	GND
3	B(BLUE)/P_B/C_B	11	–
4	–	12	–
5	GND	13	HD/CS
6	GND	14	VD
7	GND	15	–
8	GND		

HDMI 端子（HDMI19 ピン）

PIN No.	仕 様	PIN No.	仕 様	PIN No.	仕 様
1	TMDS Data2+	8	TMDS Data0 Shield	15	SCL
2	TMDS Data2 Shield	9	TMDS Data0–	16	SDA
3	TMDS Data2–	10	TMDS Clock+	17	DDC Ground
4	TMDS Data1+	11	TMDS Clock Shield	18	+5 V Power
5	TMDS Data1 Shield	12	TMDS Clock–	19	Hot Plug Detect
6	TMDS Data1–	13	CEC		
7	TMDS Data0+	14	–		

SERIAL（RS232C）端子（D-Sub 9 ピン）

PIN No.	名称	I/O
1	–	–
2	TXD	入力
3	RXD	出力
4	–	–
5	GND	–
6	–	–
7	–	–
8	–	–
9	–	–

※ コンピューターで本機を制御するときに使用します。シリアルケーブルはクロスタイプのものをご使用ください。
くわしくは、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

仕様（仕様および外観は改良のため予告無く変更することがあります。予めご了承ください。）

形名			LVP-FD730
表示方式			DLP®（単板 DLP® チップ）
光学方式			時分割色分離・合成方式
表示素子	サイズ		0.65 形× 1（枚）、アスペクト比 16:9
	画素数		2,073,600 画素 (1920 × 1080)×1 枚
投写レンズ	焦点距離		f = 20.6 ～ 30.1mm
	F 値		F2.4 ～ 2.8
光源			高圧水銀ランプ　280W
画面サイズ（投写距離）			40 形～ 300 形（ワイド端のみ）、1.2 ～ 9.6m、アスペクト比 16:9
再現色数			1,677 万色（フルカラー）
スピーカー音声出力			10W、モノラル　個数 1
表示可能解像度	コンピューター信号入力時	最大入力解像度	1600 × 1200 ドット（圧縮表示）
		パネル解像度	1920 × 1080 ドット
	ビデオ信号入力時		表示可能信号：NTSC、4.43NTSC、PAL、SECAM、PAL-N、PAL-M、PAL-60 NTSC 水平解像度：600TV 本（S 端子入力時）
	コンポーネントビデオ信号入力時		480i、576i、480p、576p、1080i、720p、1080p
コンピューター入出力	コンピューター入力	映像入力	ミニ D-Sub15 ピン（RGB または Y/P_B/P_R または Y/C_B/C_R 信号対応）、2 系統 • RGB：0.7Vp-p 75 Ω /1.0Vp-p 75Ω（同期負極性） • Y：1.0Vp-p 75 Ω（同期負極性） • P_BP_R/C_BC_R：0.7Vp-p 75 Ω • HD/CS：TTL レベル（負または正極性） • VD：TTL レベル（負または正極性）
		音声入力	φ 3.5mm ステレオミニジャック、2 系統 • 350mVrms 10k Ω以上
	コンピューター出力	映像出力	ミニ D-Sub15 ピン（RGB/Y/P_B/P_R/Y/C_B/C_R 出力）、1 系統 • コンピューター入力と同一の信号形式で出力
		音声出力	φ 3.5mm ステレオミニジャック、1 系統（ビデオ出力と共有）
ビデオ入出力	ビデオ入力	映像入力	RCA 端子、1 系統 • 1.0Vp-p 75 Ω（同期負極性） S 端子、1 系統 • Y：1.0Vp-p 75 Ω（同期負極性） • C：0.286Vp-p 75 Ω（バースト信号）
		音声入力	RCA 端子× 2（L、R）、1 系統 • 350mVrms 10k Ω以上
	HDMI 入力	映像入力	HDMI（19 ピン）、1 系統（音声は PCM にのみ対応）
	ビデオ出力	音声出力	φ 3.5mm ステレオミニジャック、1 系統（コンピューター出力と共有）
制御入出力 / その他			SERIAL（RS232C）端子（D-Sub 9 ピン）：1 系統（プロジェクター本体制御用） LAN 端子（RJ-45）：1 系統
使用温度 / 使用湿度			使用温度範囲：5 ～ 35℃（使用湿度範囲：30 ～ 90%）
電源			AC100V、50/60Hz
消費電力			4.2A　405W 待機時：0.5W（スタンバイモード「低」時）
外形寸法（幅×高さ×奥行き）			345mm × 134mm × 270mm
質量			約 4.3kg

「JIS C 61000-3-2 適合品」
JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性－第 3-2 部：限度値－高調波電流発生限度値（1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

別売品

スクリーン	（形名 SCR-A50P） （形名 SCR-A60P） （形名 SCR-A80P）
光源ランプ	（形名 VLT-XD700LP）

接続できる信号の種類

信号モード	解像度 (H × V)	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	通常表示 (H × V)	NATIVE 表示 (H × V)	プラグアンドプレイ対応*3		
						COMPUTER/ COMPONENT VIDEO IN-1 端子	HDMI 端子	
TV60, 480i (525i)	720 × 480	15.73	59.94	1440 × 1080	-			*1 *2
TV50, 576i (625i)	720 × 576	15.63	50.00	1440 × 1080	-			*1 *2
1080i 60 (1125i 60)	1920 × 1080	33.75	60.00	1920 × 1080	-		○	*1
1080i 50 (1125i 50)	1920 × 1080	28.13	50.00	1920 × 1080	-		○	*1
480p (525p)	720 × 480	31.47	59.94	1440 × 1080	-		○	*1
576p (625p)	720 × 576	31.25	50.00	1440 × 1080	-		○	*1
720p 60 (750p 60)	1280 × 720	45.00	60.00	1920 × 1080	-		○	*1 *4
720p 50 (750p 50)	1280 × 720	37.50	50.00	1920 × 1080	-		○	*1 *4
1080p 60 (1125p 60)	1920 × 1080	67.50	60.00	1920 × 1080	-		○	*1 *4
1080p 50 (1125p 50)	1920 × 1080	56.25	50.00	1920 × 1080	-		○	*1 *4
CGA70	640 × 400	31.47	70.09	1728 × 1080	640 × 400			
CGA84	640 × 400	37.86	84.13	1728 × 1080	640 × 400			
CGA85	640 × 400	37.86	85.08	1728 × 1080	640 × 400			
VGA60	640 × 480	31.47	59.94	1440 × 1080	640 × 480	○	○	
VGA72	640 × 480	37.86	72.81	1440 × 1080	640 × 480	○		
VGA75	640 × 480	37.50	75.00	1440 × 1080	640 × 480	○		
VGA85	640 × 480	43.27	85.01	1440 × 1080	640 × 480			
SVGA56	800 × 600	35.16	56.25	1440 × 1080	800 × 600	○		
SVGA60	800 × 600	37.88	60.32	1440 × 1080	800 × 600	○	○	
SVGA72	800 × 600	48.08	72.19	1440 × 1080	800 × 600	○		
SVGA75	800 × 600	46.88	75.00	1440 × 1080	800 × 600	○		
SVGA85	800 × 600	53.67	85.06	1440 × 1080	800 × 600			
SVGA95	800 × 600	59.97	94.89	1440 × 1080	800 × 600			
XGA60	1024 × 768	48.36	60.00	1440 × 1080	1024 × 768	○	○	
XGA70	1024 × 768	56.48	70.07	1440 × 1080	1024 × 768	○		
XGA75	1024 × 768	60.02	75.03	1440 × 1080	1024 × 768	○		
XGA85	1024 × 768	68.68	85.00	1440 × 1080	1024 × 768			
SXGA70a	1152 × 864	63.85	70.01	1440 × 1080	1152 × 864			
SXGA75a	1152 × 864	67.50	75.00	1440 × 1080	1152 × 864			
SXGA85a	1152 × 864	77.49	85.06	1440 × 1080	1152 × 864			
WXGA60	1280 × 768	47.78	59.87	1800 × 1080	1280 × 768		○	
WXGA60a	1280 × 800	49.70	59.81	1728 × 1080	1280 × 800	○	○	
WXGA60b	1360 × 768	47.71	60.02	1912 × 1080	1360 × 768			
WXGA60c	1366 × 768	47.50	59.75	1920 × 1080	1366 × 768	○	○	
WXGA+60	1440 × 900	56.94	59.89	1728 × 1080	1440 × 900	○		
SXGA60b	1280 × 960	60.00	60.00	1440 × 1080	1280 × 960	○	○	
SXGA75b	1280 × 960	75.00	75.00	1440 × 1080	1280 × 960			
SXGA85b	1280 × 960	85.94	85.00	1440 × 1080	1280 × 960			
SXGA60	1280 × 1024	63.98	60.02	1350 × 1080	1280 × 1024	○	○	
SXGA75	1280 × 1024	79.98	75.02	1350 × 1080	1280 × 1024	○		
SXGA85	1280 × 1024	91.15	85.02	1350 × 1080	1280 × 1024			
SXGA+60	1400 × 1050	63.98	60.02	1440 × 1080	1400 × 1050			
	1400 × 1050	63.98	60.02	1440 × 1080	1400 × 1050	○	○	
SXGA+75	1400 × 1050	82.28	74.87	1440 × 1080	1400 × 1050			
WSXGA+60	1680 × 1050	65.29	59.95	1728 × 1080	1680 × 1050			
MAC13	640 × 480	35.00	66.67	1440 × 1080	640 × 480	○		
MAC16	832 × 624	49.72	74.55	1440 × 1080	832 × 624	○		
MAC19	1024 × 768	60.24	75.02	1440 × 1080	1024 × 768			
HP75	1024 × 768	62.94	74.92	1440 × 1080	1024 × 768			
HP72	1280 × 1024	78.13	72.00	1350 × 1080	1280 × 1024			
SUN66a	1152 × 900	61.85	66.00	1382 × 1080	1152 × 900			
SUN76a	1152 × 900	71.81	76.64	1382 × 1080	1152 × 900			
SUN66	1280 × 1024	71.68	66.68	1350 × 1080	1280 × 1024			
SUN76	1280 × 1024	81.13	76.11	1350 × 1080	1280 × 1024			
SGI72	1280 × 1024	76.92	72.30	1350 × 1080	1280 × 1024			
SGI76	1280 × 1024	82.01	76.00	1350 × 1080	1280 × 1024			
UXGA60	1600 × 1200	75.00	60.00	1440 × 1080	1600 × 1080	○	○	

*1： 2 画面表示、画面拡大機能、イメージキャプチャーには対応していません。
*2： HDMI 端子はこれらの信号に対応していません。
*3： プラグアンドプレイ対応欄に○がある信号は、プロジェクターの EDID(拡張ディスプレイ認識データ) に記述している信号です。プラグアンドプレイ対応欄に○がない信号でも、信号モード欄に記載があれば入力可能です。プラグアンドプレイ対応欄に○がない信号は、コンピューターが対応していても解像度の選択ができない場合があります。
*4： AUTO POSITION ボタンによる調整時に、2 つのモードが選択できます。くわしくは、15 ページをご覧ください。

仕様（つづき）

お知らせ

- 最大解像度は、1920 × 1080 ドットです。これ以上の解像度の場合は、本来の解像度は得られません。
- SYNC ON G 対応の信号は、映像が緑っぽくなることがあります。（このとき、信号設定メニューの中の詳細設定メニューのクランプ位置またはクランプ幅を調整してください。）
- SYNC ON G 対応の信号は、画面が少し揺れることがあります。
- 表に載っていない解像度と周波数のときは、接続するコンピューターの解像度を変更することにより、対応できる解像度と周波数に変更できる場合があります。
- 1080i はハイビジョン信号を表します。
- ハイビジョン信号などを RGB 信号で入力するときは、信号設定メニューの COMPUTER 入力の設定を「RGB」にしてください。
- ハイビジョン信号を表示しているとき、インターレス信号の構造上、画質が劣化します。
- 480p の 4 線（R、G、B、CS*）および 5 線（R、G、B、H、V）出力機器について、本機は対応していません。
  *Composite Sync
- SXGA85、SXGA85b、UXGA60 などの信号入力時、オプションメニューの「画角」の設定によっては、表示される色数が減少する場合があります。必要であれば、コンピューターの信号フォーマットを変更してください。

NATIVE 表示について

投写画面上にモアレが発生したり、または投写画面上の線の太さがばらつくときは、入力信号そのままの大きさで表示（NATIVE 表示）することにより、見やすくなることがあります。NATIVE 表示にするためには、あらかじめオプションメニューの画角の設定を「NATIVE」にします（詳細メニューの設定のしかたについては、28 ページ参照）。

- NATIVE 表示中は、拡大率の変更および拡大させる範囲の変更はできません。
- パネル解像度より大きい信号は、NATIVE 表示にできません。
- パネル解像度より小さい信号は黒枠付きで表示されます

保証とアフターサービス

■保証書（別添付）

●保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間
お買上げ日から 1 年間です
但し、ランプは 1 年以内で 500 時間まで

■補修用性能部品の最低保有期間

●当社は、プロジェクターの補修用性能部品を、製造打切り後最低 8 年間保有しています。
●性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
●光源ランプなどの消耗部品の他に、液晶パネル、偏光板、PBS（光偏光素子）、カラーホイールなどの光学部品及び冷却ファンは寿命部品で、定期的な交換が必要です。長時間（毎日 6 時間以上）ご使用されると、1 年未満であっても修理・交換が必要になる場合があります。また、たばこの煙やほこりの多い場所でご使用になると、定期的な交換サイクルを早める場合があります。くわしくは、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

●三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

■修理を依頼されるときは

◎**「故障かなと思ったら」**の手順にしたがって、お調べください。
●なお、不具合があるときは、電源を切ったあと、必ず電源プラグを抜いてから、三菱電機テクニカルサポートセンターにご連絡ください。

◎ **保証期間中は**
修理に際しましては、保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって、三菱電機テクニカルサポートセンターが修理させていただきます。

◎ **保証期間が過ぎているときは**
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

◎ **修理料金は**
技術料＋部品代（＋出張料）などで構成されています。

◎ **ご連絡いただきたい内容**

1. 品　　名　三菱 DLP® プロジェクター
2. 形　　名　LVP-FD730
3. お買上げ日　　年　月　日
4. 故障の状況　（できるだけ具体的に）
5. ご住所（付近の目印なども）
6. お名前・電話番号・訪問希望日

お問合わせ窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客さまからご提供いただきました個人情報を、下記のようにお取り扱いします。

1. お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事、および製品のお取り扱いに関連してお客さまよりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質やサービス品質の改善・製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客さまからご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
   ① 上記利用目的のために、当社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
   ② 法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

三菱電機
テクニカルサポートセンターのご案内

テクニカルサポートセンター

修理、取り扱いのご相談、技術的なお問合わせは
全国どこからでもおかけいただける
三菱電機テクニカルサポートセンター
0120-32-7440（無料）
Tel:075-353-0654
（携帯電話、PHSでお問い合わせの場合）
■**受付時間**　平日・土日・祝日（弊社指定休日除く）
午前 9：00～12：00/午後 1：00～9：00
FAX　075-353-0685
E-mail　pep-m@fuso.co.jp

この製品に関する詳細情報や応用例などを、WWWサーバでもご提供しています。
www.MitsubishiElectric.co.jp/projector/business

三菱電機株式会社（本社窓口）

購入、買替えのご相談は
三菱電機株式会社（本社窓口）
TEL:03-3218-6107（有料）
■ **受付時間**　平日（土日・祝日・弊社指定休日除く）
午前 9：00～12：00/午後 1：00～5：30

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

インジケーターの見かた

本機には、内部の状態を知らせるインジケーターが 2 つあります。インジケーターの光りかたで、どのような状態かを知ることができます。次のことをお調べになってそれでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、三菱電機テクニカルサポートセンターにご連絡ください。

正常時

POWER	STATUS	状態	備考
赤点灯	○ 消灯	電源スタンバイ状態	
	○ ⇄ 緑点滅	クーリング中	電源「入」の操作はできません。
緑点灯	○ ⇄ 緑点滅	ランプスタンバイ状態	電源「切」の操作はできません。
	緑点灯	電源「入」（通常時）	

異常時

POWER	STATUS	状態	備考
緑点灯 または 赤点灯	○ ⇄ オレンジ点滅	本機内部が高温になっている ● 吸気口または排気口をふさいでいる。 ● 暖房の吹出し口など高温になる場所で使用している。	● ふさいでいる物をとる。 ● 設置場所を変える。
赤点灯	○ ⇄ 緑点滅	保護回路がはたらいている または ランプが異常	● STATUS インジケーターの緑点滅が消えてから電源ボタンを押す。 上記の操作を数回行っても、光源ランプが点灯しないときは、光源ランプを交換してください。光源ランプのご購入は、お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。
緑点灯	赤 / 緑点滅	ランプ交換表示（電源が「入」のとき）（45 ページ参照）	光源ランプを交換してください。 光源ランプのご購入は、お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。
赤点灯	○ ⇄ 赤点滅	ランプ交換表示（電源が「切」のとき）（45 ページ参照）	
	赤点灯	ランプ交換表示（45 ページ参照）	
赤 / 緑点滅	○ 消灯	ランプカバーが開いている	ランプカバーを閉じる。
	点灯 または ○ ⇄ 点滅	故障	電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

● ご購入店などをメモしておきますとあとで役にたちます。

購入年月日

購入店名（住所）

電話番号

この DLP® プロジェクターの形名は LVP-FD730 です。

愛情点検

● 長年ご使用の場合は点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか		ご使用中止	
	● 電源コード、電源プラグが異常に熱い。 ● コゲくさい臭いがする。 ● 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。 ● 電源スイッチを入れても映像がでない。 ● 映像が乱れたり、画面が異常にかけたりする。 ● その他の異常・故障がある。		故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

DLP®プロジェクターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。

三菱電機株式会社
京都製作所　〒617−8550 京都府長岡京市馬場図所1番地

Ver. 1.0

Printed in China